Camera Control Pro 2 ソフトウェア
使用説明書（リファレンスマニュアル）

■ はじめに

この使用説明書の構成、Camera Control Pro 2 の概要（主な機能および動作環境）、使用前の準備などについて記載しています。

■ 操作ガイド

Camera Control Pro 2の各機能の操作手順について記載しています。

■ 付録

環境設定の詳細、アンインストールの手順などについて記載しています。

重要：Product Key（プロダクトキー）について

ケースに添付されているプロダクトキーは大切に保管してください。プロダクトキーを紛失された場合、再発行できません。このプロダクトキーは、本ソフトウェアをインストールする際に必要になります。また、将来新しいバージョンにアップグレードする際にも必要になります。



SB7I01(B1)
6MS541B1-01

はじめに

見出しやページ番号をクリックすると、その項目の説明ページに移動します。

はじめにお読みください

このたびは Camera Control Pro 2 をお買いあげくださいまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。お読みいただいた後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表記について

- この使用説明書は、カメラやパソコンの OS に関する基礎的な知識をお持ちの方にお読みいただくことを想定しています。基本的な用語や操作などについてはカメラやパソコンの使用説明書などでご確認ください。
- この使用説明書では、古いバージョンの Camera Control Pro と区別するときなどを除いて Camera Control Pro 2 の「2」を省略して「Camera Control Pro」と表記しています。
- この使用説明書では、D1、D1X、D1H をまとめて「D1 シリーズ」、D2Xs、D2X、D2Hs、D2H をまとめて「D2 シリーズ」、D70S、D70 をまとめて「D70 シリーズ」、D40、D40X をまとめて「D40 シリーズ」と表記しています。
- Windows Vista 32bit 版のすべてのエディション（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）を「Windows Vista」と総称しています。
- Windows XP Home Edition と Windows XP Professional を「Windows XP」と総称しています。
- Windows 2000 Professional を「Windows 2000」と表記しています。
- OS によってメニュー名が異なる場合は、「Windows のメニュー名（Macintosh のメニュー名）」と表記しています。
- メニューやフォルダの操作順を、矢印（→）で示しています。
- コンパクトフラッシュ（CF）カードや SD メモリーカードなどを「メモリーカード」と表記しています。

この使用説明書で使用する画面について

この使用説明書は、Windows と Macintosh を同時に説明しています。説明中では、Windows Vista Ultimate の画面を主に使用していますが、操作方法は Windows/Macintosh でほぼ共通です。画面に表示されている画像ははめ込み合成によるものが含まれています。

ただし、OS の種類やバージョンの違いによって、画面の外観や操作がこの使用説明書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS 特有の操作や表示画面については、ご使用の OS の使用説明書をご覧ください。

この使用説明書を印刷するには

この使用説明書を印刷する場合は、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の［ファイル］メニューから［印刷］を選択してください。この使用説明書は A5 サイズです。A4 サイズの用紙に印刷する場合は、2 ページを見開きで印刷してください。パソコンの画面で見開き表示にしたときと同じ状態で印刷するには、2 ページ目から印刷を開始してください。

Camera Control Pro のインストール / アンインストール時のご注意

Camera Control Pro をインストール / アンインストールする際は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

はじめにお読みください

重要

Camera Control Pro の各種設定は、カメラの機種により設定内容が異なります。詳しい内容はご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

重要

Camera Control Pro は、パソコンからカメラをコントロールするソフトウェアです。撮影後の画像を編集することはできません。

使用する画面について

ここでは、主に D3 使用時の画面を使用し、設定内容が大きく異なる画面のみ、他のカメラのものを併記しています。

Mac OS で Camera Control Pro をご使用の場合

Mac OS で D100 をご使用の場合、ファームウェアバージョンが 2.00 以降であることをご確認ください。ファームウェアバージョンが 2.00 より前の場合には、お近くのニコンサービス機関にてバージョンアップしてから Camera Control Pro をご使用ください。

はじめにお読みください

カスタマー登録 / サポート窓口のご案内

カスタマー登録とサポート窓口については、［Welcome］ウィンドウの［Nikon オンライン関連リンクボタン］をクリックすると表示される画面の［カスタマー登録］ボタンをクリックしてください。詳しくは、こちらをご覧ください。



カスタマー登録

ご注意

- あなたがデジタルカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があるのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。
- この使用説明書の一部あるいは全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- この使用説明書に記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。
- この使用説明書の内容につきましては、万全を期して制作いたしましたが、万一お気付きの点がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。また、使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書を使用して操作した結果については、当社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

商標説明

Microsoft、Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickTime は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

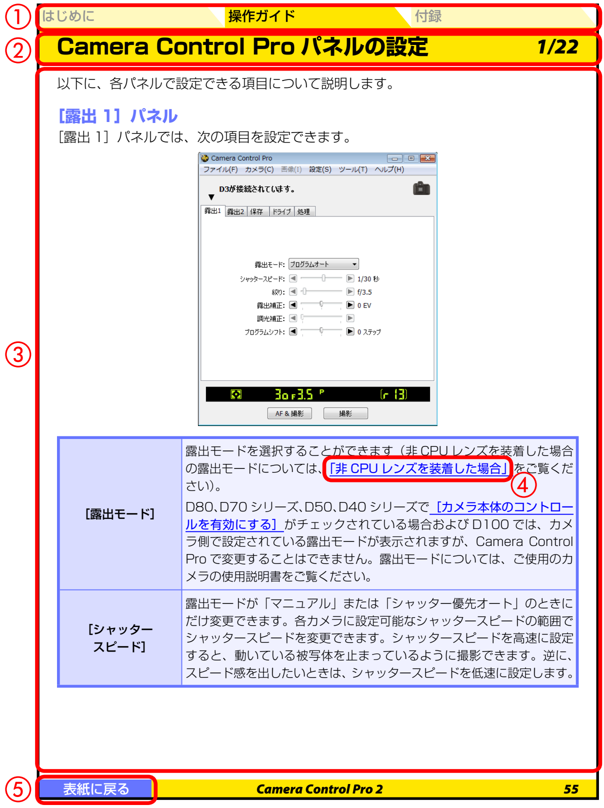
Adobe、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

この使用説明書について

使用説明書の見方

使用説明書の各ページは以下のようになっています。



① ここをクリックすると、3 つの章それぞれの最初のページに移動します。現在見ている章が濃く表示されています。

② ページのタイトルです。

③ 機能の説明です。

④ 青色の文字をクリックすると、関連するページに移動します。リンク先から元のページに戻るには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の［前の画面］ボタン（ ）をクリックしてください。

⑤ ここをクリックすると、表紙に戻ります。

動作環境

Windows

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

CPU	1 GHz 以上の Intel Celeron/Pentium 4/Intel Core シリーズ
OS	・Windows Vista 32bit 版の各エディション（Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate） ・Windows XP Home Edition/Professional ・Windows 2000 Professional （すべてプリインストールされているモデルに対応）
ハードディスク	インストール時：50 MB 以上の空き容量 動作時：1 GB 以上の空き容量
メモリー（RAM）	Windows Vista：512 MB 以上実装 Windows XP/2000：256 MB 以上実装 （すべて 768 MB 以上実装を推奨）
モニター解像度	・1024 × 768 ピクセル以上 ・24 ビットカラー以上
インターフェース※1	USB：標準装備された USB ポートのみ対応 IEEE1394：OHCI 準拠のボードのみ対応※2
対応カメラ	D3、D2 シリーズ、D1 シリーズ※3、D300、D200、D100、D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズ
その他	・インストール時に CD-ROM ドライブが必要です。 ・Nikon Message Center 機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。

※1 USB ハブおよび IEEE1394 ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

※2 動作確認済みボードをご使用ください。動作確認済みのボードに関しては下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

※3 D1 シリーズのカメラは Windows Vista には対応しておりません。

対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

動作環境 *Macintosh*

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

CPU	1GHz 以上の PowerPC G4/PowerPC G5/Core、Xeon シリーズ
OS	Mac OS X Version10.3.9、10.4.10
ハードディスク	インストール時：100MB 以上の空き容量 動作時：1GB 以上の空き容量
メモリー（RAM）	256MB 以上実装（768MB 以上実装を推奨）
モニター解像度	・1024 × 768 ピクセル以上 ・24 ビットカラー以上
インターフェース※1	USB：標準装備された USB ポートのみ対応 Firewire：標準装備された Firewire ポートのみ対応
対応カメラ	D3、D2 シリーズ、D1 シリーズ※2、D300、D200、D100、D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズ
その他	・インストール時に CD-ROM ドライブが必要です。 ・Nikon Message Center 機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。

※1 USB ハブおよび Firewire ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

※2 Intel 製 CPU 搭載の Macintosh の場合、D1 シリーズのカメラは Mac OS X Version 10.4.10 にのみ対応しております。

対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

インストール

Camera Control Pro をインストールする前に、以下の点についてご確認ください。

- Camera Control Pro の動作環境をご確認ください。
- ウィルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

ご使用のパソコンの OS 名をクリックし、インストール手順をご覧ください。

Windows　Macintosh

古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合

古いバージョンの Camera Contopl Pro がインストールされている場合は、古いバージョンをアンインストールしてから、新しい Camera Contorol Pro 2 がインストールされます。

Camera Control Pro 2 がすでにインストールされている場合

すでに Camera Control Pro 2 がインストールされている場合は、インストールの操作中に Camera Control Pro のバージョンに関するダイアログが表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

インストール　Windows 1/6

Camera Control Pro をインストールする際は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

［Welcome］ウィンドウ

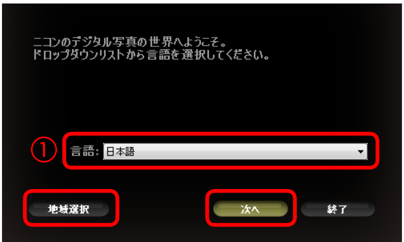
以下の手順で［Welcome］ウィンドウを開いてください。

1 ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、言語選択画面が表示されます。

Windows Vista

CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると［自動再生］ダイアログが表示されます。［Welcome.exe の実行］をクリックしてください。続いて［ユーザーアカウント制御］ダイアログが表示されます。［許可］ボタンをクリックすると、言語選択画面が表示されます。

2 ［日本語］を選択 ① して［次へ］ボタン ② をクリックすると、［Welcome］ウィンドウが自動的に開きます（［言語］メニューに選択したい言語がない場合は、［地域選択］ボタン ③ をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください）。



③　②

言語選択画面が自動的に開かない場合

以下の手順でコンピュータ（マイコンピュータ）ウィンドウを開き、その中の CD-ROM（Camera Control Pro）アイコンをダブルクリックします。

- ***Windows Vista***：［スタート］ボタン →［コンピュータ］
- ***Windows XP***：［スタート］メニュー →［マイコンピュータ］
- ***Windows 2000***：デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリック

インストール



標準インストール
必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

カスタムインストール
必要に応じてインストールするソフトウェアを選択できます（Windows Vista では表示されません）。

Nikon オンライン関連リンクボタン
ViewNX Download、Capture NX Free Trial、サポートのページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

使用説明書
Camera Control Pro の使用説明書を収録した［Manuals］フォルダが開きます。フォルダ内の［INDEX.pdf］をダブルクリックしてから地域（日本語）を選択すると、使用説明書の表紙が開きます。

終了
［Welcome］ウィンドウを閉じます。

Camera Control Pro をアンインストールする手順については、Camera Control Pro のアンインストール方法をご覧ください。

Nikon オンライン関連リンクボタン

「Nikon オンライン関連リンクボタン」には、インターネットに接続できる環境が必要です。

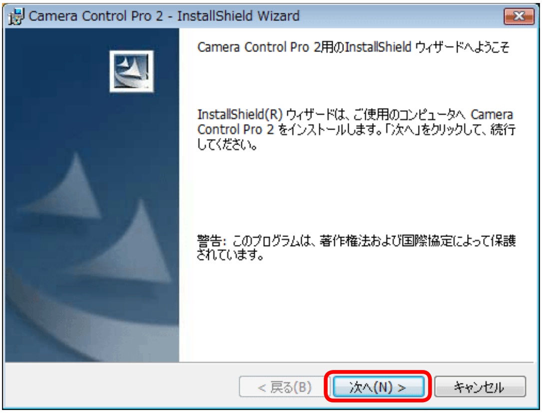
インストール

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

1 ［標準インストール］をクリックしてください。

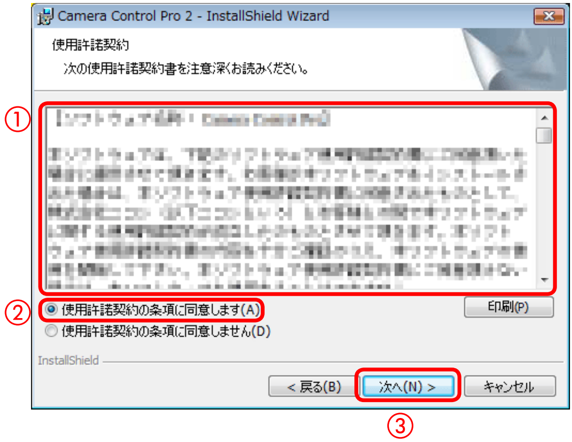


2 ［次へ］ボタンをクリックしてください。



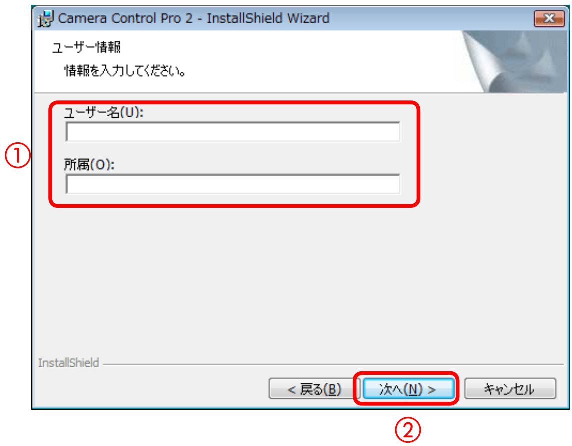
インストール

3 使用許諾契約の内容 ① をよくお読みの上、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択 ② してから、［次へ］ボタン ③ をクリックしてください。



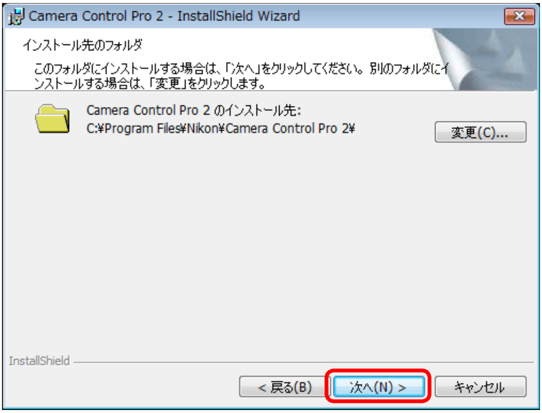
次に Readme ファイルが表示されます。このマニュアルには書かれていない内容をはじめ、重要な情報が記載されています。必ずお読みのうえ、[次へ] ボタンをクリックしてください。

4 ［ユーザー名］と［所属］を入力 ① してから、［次へ］ボタン ② をクリックしてください。

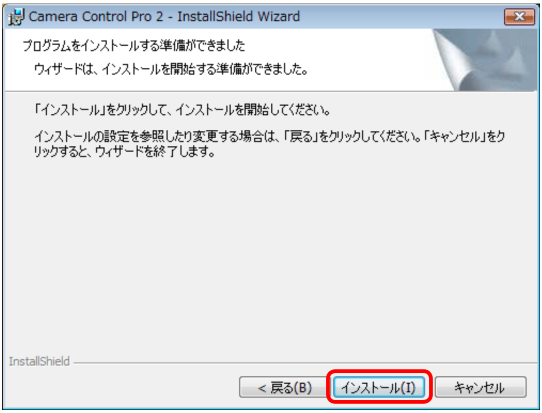


インストール

5 ［次へ］ボタンをクリックしてください（インストール先のフォルダを変更したいときは、その前に［変更］ボタンをクリックしてフォルダを選択してください）。

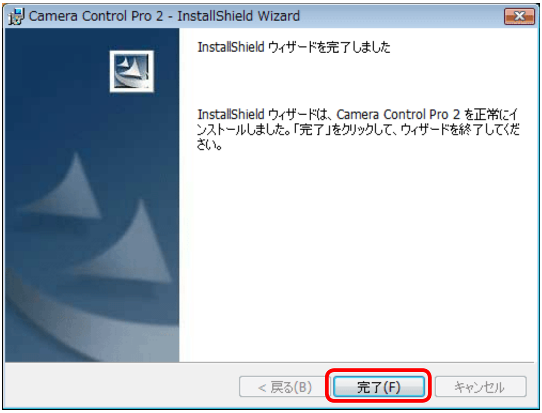


6 ［インストール］ボタンをクリックしてください。

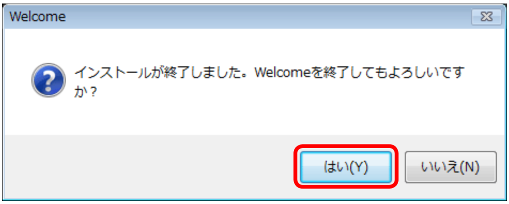


インストール

7 ［完了］ボタンをクリックしてください。



8 ［はい］ボタンをクリックし、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。



パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

これで、Camera Control Pro のインストールは完了です。

インストール　*Macintosh* 1/5

Camera Control Pro をインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

[Welcome] ウィンドウ

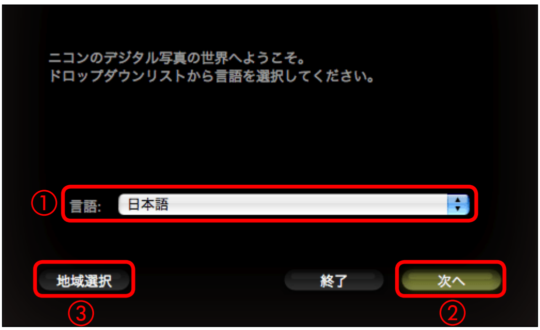
以下の手順で［Welcome］ウィンドウを開いてください。

1 ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてから、デスクトップ上の CD-ROM（Camera Control Pro）アイコン（Camera Control Pro）をダブルクリックします。開いたフォルダ内の［Welcome］アイコン（Welcome）をダブルクリックすると、［認証］ダイアログが表示されます。

2 管理者の［名前］と［パスワード］① を入力して、［OK］ボタン ② をクリックすると、言語選択画面が表示されます。



3 ［日本語］を選択 ① して［次へ］ボタン ② をクリックすると、［Welcome］ウィンドウが自動的に開きます（［言語］メニューに選択したい言語がない場合は、［地域選択］ボタン ③ をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください）。



インストール



標準インストール
必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

Nikon オンライン関連リンクボタン
ViewNX Download、Capture NX Free Trial、サポートのページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

使用説明書
Camera Control Pro の使用説明書を収録した［Manuals］フォルダが開きます。フォルダ内の［INDEX.pdf］をダブルクリックしてから地域（日本語）を選択すると、使用説明書の表紙が開きます。

終了
［Welcome］ウィンドウを閉じます。

Camera Control Pro をアンインストールする手順については、Camera Control Pro のアンインストール方法をご覧ください。

Nikon オンライン関連リンクボタン

「Nikon オンライン関連リンクボタン」には、インターネットに接続できる環境が必要です。

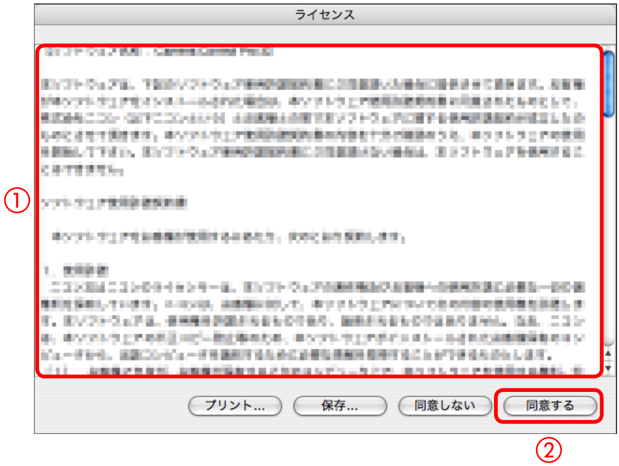
インストール

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

1 ［標準インストール］をクリックしてください。



2 使用許諾契約の内容 ① をよくお読みの上、［同意する］ボタン ② をクリックしてください。

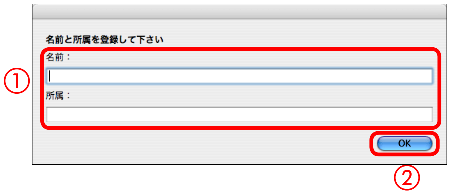


インストール

3 ［インストール］ボタンをクリックしてください。



4 ［名前］と［所属］を入力 ① してから、［OK］ボタン ② をクリックしてください。



5 ［はい］ボタンをクリックしてください。

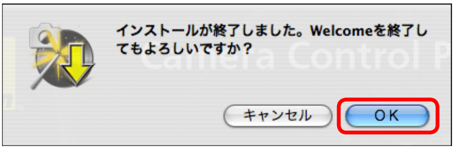


インストール

6 ［終了］ボタンをクリックしてください。



7 ［OK］ボタンをクリックして、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。



これで、Camera Control Pro のインストールは完了です。

ソフトウェアの起動と終了

Camera Control Pro を起動する

1 カメラの電源を OFF にして、カメラと起動済みのパソコンを USB ケーブルまたは IEEE1394（Firewire）ケーブル（D1 シリーズカメラの場合）で接続します。パソコンとの接続方法についてはカメラの使用説明書をご覧ください。

ワイヤレストランスミッター（WT-2、WT-3、WT-4）による無線接続について

Camera Control Pro は、ワイヤレストランスミッターで無線接続したカメラを PC モードに設定して使用することもできます。無線接続についてはご使用のワイヤレストランスミッターの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro を起動する前に

[D1 シリーズ]：Camera Control Pro を起動する前に、カメラの動作モードを「PC」にしてください。

[D100]：露出モードを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかにセットしてください。

[D3] [D2 シリーズ] [D300] [D200]：レリーズ（動作）モードを［ミラーアップ撮影］以外にセットしてください。

USB の設定について（[D1 シリーズ] 以外）

Camera Control Pro を起動する前に、カメラのセットアップメニューの「USB」を次のように設定してください。

OS	[D100]	[D2 シリーズ] [D200] [D80] [D70 シリーズ] [D50]	[D3] [D300] [D40 シリーズ]
Windows Vista Windows XP	PTP	PTP	MTP/PTP
Windows 2000	Mass Storage*	PTP	MTP/PTP
Mac OS	PTP	PTP	MTP/PTP

* D100 を Mass Storage で接続（Windows 2000 の場合）して Camera Control Pro を使用する場合は、「Administrators」権限のアカウントでログオンしてください。

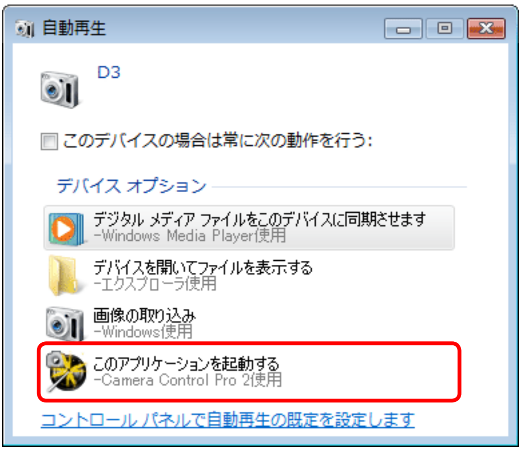
ソフトウェアの起動と終了

2 カメラの電源を ON にします。

Nikon Transfer または PictureProject Transfer が起動したときは、終了してください。

Windows Vista/XP のパソコンにカメラを USB ケーブルで接続した場合

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、起動に使うプログラムを選択するダイアログが表示されることがあります。



［Camera Control Pro 2 使用］を選択し、Camera Control Pro を起動してください。

ソフトウェアの起動と終了

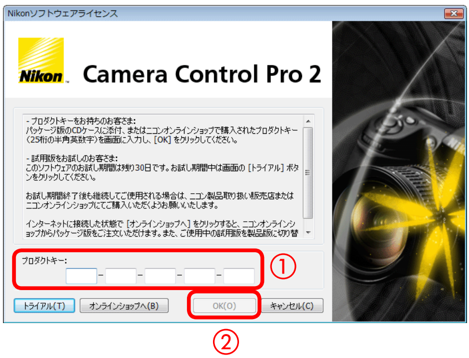
3 Camera Control Pro を以下の方法で起動します。

	Windows	Macintosh
方法①	デスクトップ上の［Camera Control Pro 2］のショートカットアイコンをダブルクリックする。 	Dock に登録したアイコンをクリックする。 
方法②	スタートのプログラム一覧 →［Camera Control Pro 2］→［Camera Control Pro 2］を選択する。 	［アプリケーション］→［Nikon Software］→［Camera Control Pro 2］の順にフォルダを選択し、［Camera Control Pro 2］アイコンをダブルクリックする。 

プロダクトキーについてのご注意

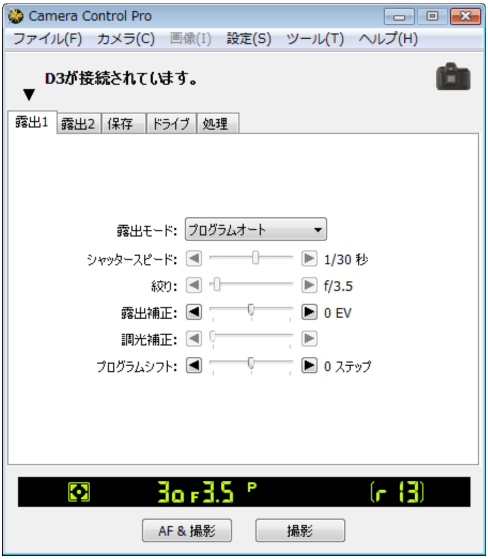
Camera Control Pro を初めて起動したときは、プロダクトキーを入力するダイアログが表示されます。パッケージに記載されているプロダクトキーを入力①して、［OK］ボタンをクリック②してください。

- プロダクトキーは半角で入力してください。
- プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。
- アップグレード版の Camera Control Pro の場合は、前のバージョンのプロダクトキーも必要になります。



ソフトウェアの起動と終了

4 [Camera Control Pro] ウィンドウが起動します。



Windows



Macintosh

ソフトウェアの起動と終了

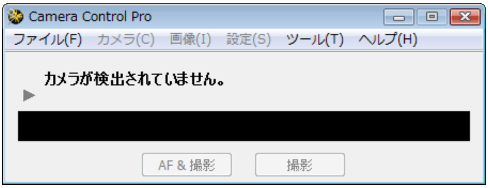
プロダクトキーの入力

ソフトウェアの起動時にプロダクトキーの入力画面が表示された場合は、パッケージに記載されているプロダクトキーを入力してから、［OK］ボタンをクリックしてください。プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。

トライアル版をご使用の場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。起動のたびに、プロダクトキーの入力画面が表示されます。［トライアル］ボタンをクリックすると、Camera Control Pro をご試用(30 日間)いただけます。［オンラインショップへ］ボタンをクリックすると、プロダクトキーの購入サイトが表示されます。

重要

Camera Control Pro を起動する前に、カメラとパソコンが接続されていない、またはカメラの電源が OFF になっている場合には、［Camera Control Pro］ウィンドウが以下のように表示されます。この場合、主な機能を使用することができません。カメラの電源を ON にして、カメラとパソコンを接続してください。

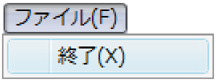


ソフトウェアの起動と終了

Camera Control Pro を終了する

Windows

［ファイル］メニューから［終了］を選択する。



Macintosh

[Camera Control Pro] メニューから [Camera Control Pro を終了] を選択する。



ソフトウェアの起動と終了

カメラとパソコンの接続を解除する

カメラとパソコンの接続を解除する際は、必ず以下の手順をお守りください。

USB 通信方式が「MTP/PTP」または「PTP」のカメラや IEEE1394（Firewire）対応カメラと接続した場合：

カメラの電源を OFF にして、接続ケーブルを取り外してください。

USB 通信方式が「Mass Storage」のカメラと接続した場合：

Windows Vista

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして［USB 大容量記憶装置 - ドライブ (F:) ※を安全に取り外します。］を選択してください。



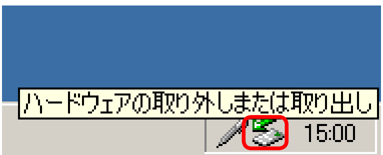
Windows XP

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして［USB 大容量記憶装置デバイスードライブ(F:)※を安全に取り外します。］を選択してください。



Windows 2000

パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして［USB 大容量記憶装置デバイスードライブ (F:) ※を停止します］を選択してください。

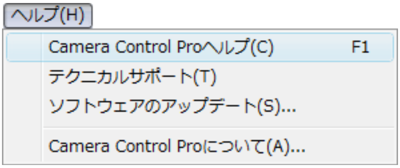


※ ドライブ（F:）の「F」は、ご使用のパソコンの環境によって異なります。

ヘルプの表示

操作方法についてわからないことがあった場合は、ヘルプをご参照ください。

［ヘルプ］メニューから［Camera Control Pro ヘルプ］を選択すると、Camera Control Pro のヘルプ画面が表示されます。



Windows



Macintosh

ソフトウェアの更新

Camera Control Pro をインストールすると、自動的に Camera Control Pro などの更新情報をチェックするニコンメッセージセンター（Nikon Message Center）というソフトウェアがインストールされます。ご使用のパソコンがインターネットに接続されているときに Camera Control Pro を起動すると、ニコンメッセージセンターは Camera Control Pro の更新情報などをチェックします（初期設定）。更新情報がある場合は、Nikon Message Center ダイアログが自動的に表示されます。

メニューから Camera Control Pro を更新する場合

[ヘルプ] メニューから [ソフトウェアのアップデート] を選択しても、新しいバージョンの Camera Control Pro があるかをチェックできます。

ソフトウェアアップデートについてのご注意

ソフトウェアをアップデートする際は、ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境である必要があります。また、インターネットサービスプロバイダの使用料や電話料金がかかることがあります。

接続の解除について

ダイアルアップ接続でアップデートする場合、アップデートが完了しても、インターネット接続は解除されません。手動で接続を解除してください。

プライバシーポリシーについて

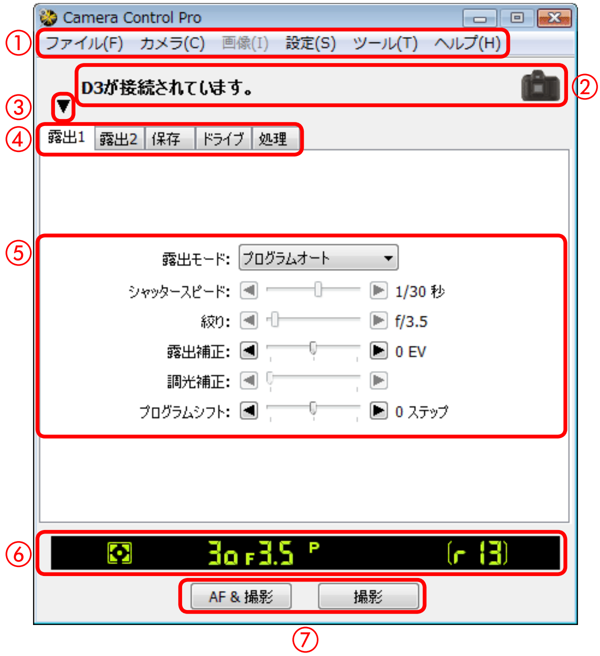
本サービスにより提供されたお客様の個人情報を、お客様の同意なしに第三者に開示することはございません。

操作ガイド

Camera Control Pro の画面構成

Camera Control Pro の画面構成は以下のようになっています（画面は D3 の例です）。

Windows



① **メニューバー**

② 接続表示 : カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。

③ 表示切り換えボタン ▼ / ▶ : パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

④ **パネル選択用タブ** : クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。

⑤ Camera Control Pro パネル : カメラ側の各種設定を行うことができます。

⑥ LCD 領域 : カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されています。

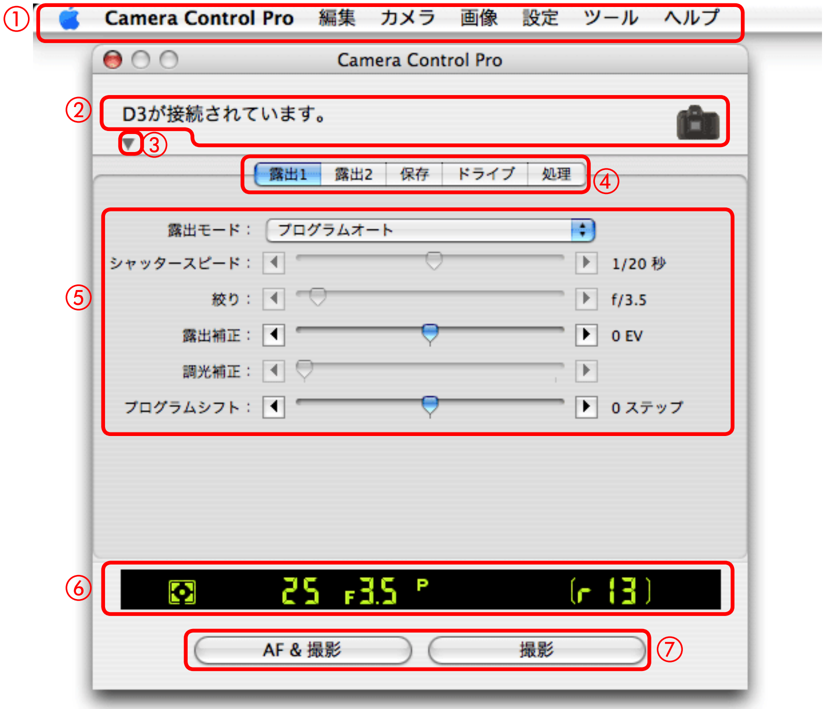
⑦ 撮影ボタン : カメラのシャッターボタンと同様の機能です。

表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。［ツール］メニューの［カメラコントロールパネルを隠す］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。［カメラコントロールパネルを表示する］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

Camera Control Pro の画面構成

Macintosh



① **メニューバー**

② 接続表示 : カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。

③ 表示切り換えボタン ▼ / ▶ : パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

④ **パネル選択用タブ** : クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。

⑤ Camera Control Pro パネル : カメラ側の各種設定を行うことができます。

⑥ LCD 領域 : カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されています。

⑦ 撮影ボタン : カメラのシャッターボタンと同様の機能です。

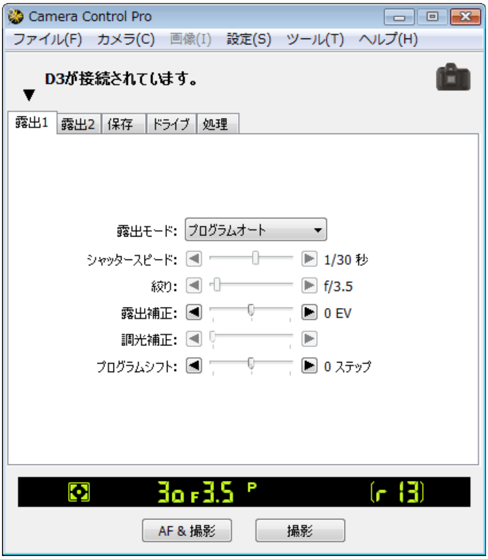
表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。［ツール］メニューの［カメラコントロールパネルを隠す］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。［カメラコントロールパネルを表示する］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　1/7

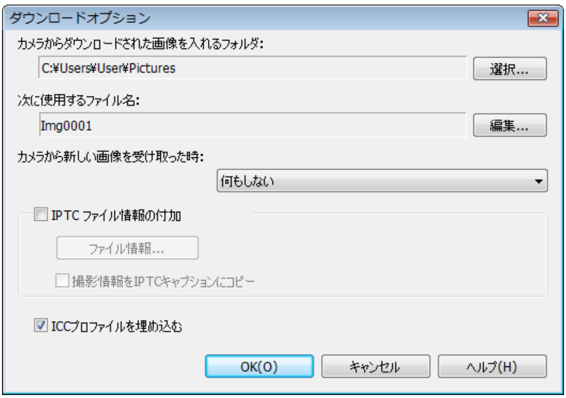
Camera Control Pro を起動した状態で撮影を行うと、撮影した画像はカメラ内のメモリーカードには記録されず、パソコンのハードディスクに保存されます。カメラで直接操作する他に、［Camera Control Pro］ウィンドウの［AF& 撮影］/［撮影］ボタンを使って、パソコンから撮影することもできます。

1 Camera Control Pro を起動します。



2 ［ツール］メニューの［ダウンロードオプション ...］を選択します。

次のような［ダウンロードオプション］ダイアログが表示されます。



これから撮影する画像をハードディスクに保存する　2/7

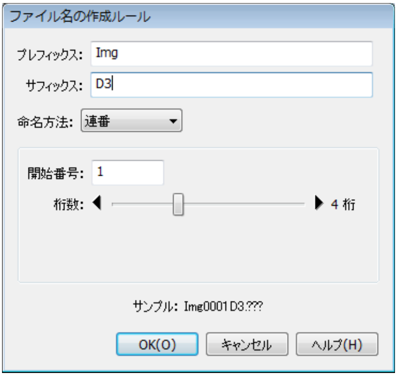
3 撮影画像の保存先、ファイル名、転送後の操作、ファイル情報の設定を行います。

[カメラからダウンロードされた画像を入れるフォルダ]

保存先フォルダ名が表示されます。フォルダを変更する場合は、［選択］ボタンをクリックして、撮影した画像を保存するフォルダを指定します。

[次に使用するファイル名]

保存するファイル名が表示されます。ファイル名を変更する場合は、［編集］ボタンをクリックします。[ファイル名の作成ルール] ダイアログが表示されます。



ファイル名は「プレフィックス＋ 識別子＋サフィックス＋ 拡張子」で構成されます。変更したファイル名は、画面下の［サンプル］で確認できます。



拡張子について

変更するファイル名には、自動的に以下の拡張子が付きます。

JPEG 画像	.JPG
TIFF 画像	.TIF
RAW 画像	.NEF
イメージダストオフデータ	.NDF

ステップ３次ページへ続く

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 3/7

[プレフィックス]	ファイル名の先頭に使用したい文字を入力できます。
[サフィックス]	ファイル名の末尾に使用したい文字を入力できます。
[命名方法]	識別子の付け方を [連番]、[日付]、[日付と時間] から選択できます。連番の場合は開始番号と桁数 (2 ～ 8 桁) を設定できます。

ファイル名を変更してから［OK］ボタンをクリックすると、［ダウンロードオプション］ダイアログに戻ります。

ステップ３次ページへ続く

ファイル名の制限事項について

ファイル名を指定する際には、次のことに留意してください。

Windows

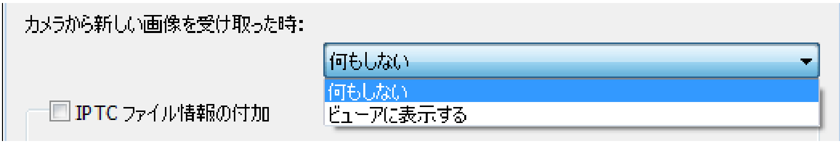
ファイル名には、「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「"」、「<」、「>」、「|」は使用できません。「.」は、ファイル名の先頭または末尾では使用できません。

Macintosh

ファイル名は半角で 31 文字以内になるように指定してください。また、ファイル名で「:」は使用できません。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 4/7

[カメラから新しい画像を受け取った時]

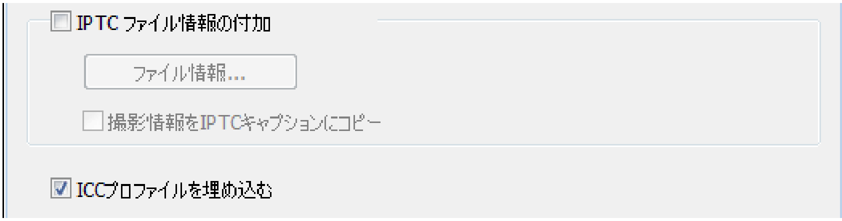


カメラから新しい画像を受け取ったときの動作を設定できます。

[何もしない]	撮影した画像を直接ハードディスクに保存します。
[ビューアに表示する]	撮影した画像をハードディスクに保存した後、[ビューア］ウィンドウが自動的に起動し、撮影直後にパソコンで画像を確認することができます。
[ViewNX に表示する]（ViewNX がインストールされている場合に表示）	撮影した画像をハードディスクに保存した後、ViewNX が自動的に起動し、撮影直後にパソコンで画像を確認することができます。ViewNX の使用方法については ViewNX のヘルプをご覧ください。ViewNX は最新のバージョンをご使いください。
[Capture NX の監視フォルダに保存する]（Capture NX で監視フォルダが設定されている場合に表示）	Capture NX（別売）の「監視フォルダ」で設定しているフォルダ内に撮影した画像が保存され、Capture NX であらかじめ設定していた各種画像調整内容をもとに自動保存処理（バッチ処理）を行います。このオプションを使用する場合は、監視フォルダが設定されている Capture NX を起動してください。監視フォルダの機能については Capture NX の使用説明書をご覧ください。ご使用の Capture NX が接続しているカメラに対応しているかをご確認ください。

ステップ３次ページへ続く

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　5/7



［IPTC ファイル情報の付加］

チェックボックスをオン ☑ にすると、転送する画像ファイルに［ファイル情報］ダイアログで設定した情報を付加します。また、このチェックボックスをオン ☑ にすると、［ファイル情報］ボタンと［撮影情報を IPTC キャプションにコピー］チェックボックスが使えるようになります。

［ファイル情報］ボタン

キャプション、キーワードなどのファイル情報の読み込みと保存を行うことのできる［ファイル情報］ダイアログを表示します。

［撮影情報を IPTC キャプションにコピー］

チェックボックスをオン ☑ にすると、Camera Control Pro で撮影した画像の撮影情報がファイル情報のキャプションにコピーされます。

［ICC プロファイルを埋め込む］

チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影した画像が JPEG または TIFF の場合に、カメラで設定した色空間の ICC プロファイルを埋め込んだ状態で転送します。

4 設定が完了したら、［OK］ボタンをクリックします。［ダウンロードオプション］ダイアログで設定した内容が確定されます。

画像真正性検証機能が ON に設定されている場合

D3　D2Xs　D300　D2X※　D2Hs※　D200※

※ カメラのファームウェア バージョンが 2.00 の場合のみ

- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、［IPTC ファイル情報の付加］チェックボックスをオン ☑ にしても、画像の保存時に IPTC ファイル情報は付加されません。また、［ICC プロファイルを埋め込む］のチェックボックスをオン ☑ にしても、ICC プロファイルは画像に埋め込まれません。
- 画質モードが TIFF に設定されている場合、「画像真正性検証機能」は ON に設定されていても、無効になります。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　6/7

5 カメラの向きに合わせて、撮影する画像に縦横位置情報を付加することができます。カメラを縦位置にして撮影する場合に便利です。縦横位置情報を付加すると、ViewNX、Capture NX（別売）などの縦横位置情報を反映できるニコン製のソフトウェアで画像を開くときに、自動的に回転して表示されます。

セットアップメニューで［縦横位置情報の記録］が設定できるカメラ（D3、D2 シリーズ、D300、D200、D80、D40 シリーズ）や［姿勢情報記録］が設定できるカメラ（D70 シリーズ、D50）の場合、カメラ側ですでに記録する設定（ON）になっていると、Camera Control Pro で縦横位置情報の設定を行うことはできません。

画像の回転について

画像を回転する場合は、［画像］メニューから［すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転］または［すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転］を選択します。選択したメニュー項目にはチェックが付けられます。

すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転：チェックすると、これから撮影する画像に縦横位置情報（反時計方向に 90 度回転）を付加して保存します。

すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転：チェックすると、これから撮影する画像に縦横位置情報（時計方向に 90 度回転）を付加して保存します。

チェックの付いたメニュー項目を再度選択すると、チェックが外れます。チェックを外すと、縦横位置情報を付加しません。カメラの向きにかかわらず、撮影する画像の向きは横位置となります。

連写時の画像の回転について（D1 シリーズ D100 以外）

カメラの動作モードによっては、連写時の画像の回転方向が連写の 1 番目の画像の向きに固定されます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

画像真正性検証機能が ON に設定されている場合 D3 D2Xs D300 D2X※ D2Hs※ D200※

※ カメラのファームウェア バージョンが 2.00 の場合のみ

- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、［すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転］または［すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転］をチェックしても、縦横位置情報は付加されません。
- 画質モードが TIFF に設定されている場合、「画像真正性検証機能」は ON に設定されていても、無効になります。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　7/7

6 カメラのシャッターボタンを押して撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す［ステータス］ダイアログが起動します。



［ステータス］ダイアログの下の部分に表示されている切り換えボタン ▶ をクリックすると、最後に撮影された画像のおおよそのヒストグラムが表示されます。



［ハイライトを表示］チェックボックスをオン ☑ にすると、［ステータス］ダイアログ上の画像のテキストボックスに入力した輝度値を超えた部分が黒く点滅してハイライト表示 * されます。

* ハイライトとは、画像の中の非常に明るい部分です。露出補正などで画像の明るさを調整する際に、点滅しているハイライト部分を目安にしてください。

［表示するチャンネル：RGB］の各チェックボックスをオン ☑ にすることにより、赤、緑、青のチャンネルごとの個別ヒストグラム * も表示することができます。

* ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は画像の明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

7 撮影が終了したら、［閉じる］ボタン ☒ をクリックして、［ステータス］ダイアログを閉じます。

撮影した画像を確認する

[ダウンロードオプション] ダイアログの [カメラから新しい画像を受け取った時] で [ビューアに表示する] を選択すると、画像を撮影してハードディスクに保存した後、以下のような [ビューア] ウィンドウが起動して、撮影した画像を表示します。

[ビューア] ウィンドウは、[ツール] メニューの [ビューアを表示] を選択して起動することもできます。このとき、[ダウンロードオプション] ダイアログの [カメラからダウンロードされた画像を入れるフォルダ] で設定されたフォルダ内のもっとも新しい画像を表示します。

[ビューア] ウィンドウ

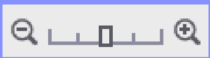
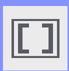
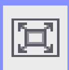
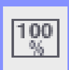
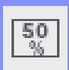


ウィンドウタイトル

Img0003.jpg	画像表示エリアに表示している画像のファイル名が表示されます。RAW+JPEG の場合は、「Img0001.jpg/nef」のように両方の拡張子が表示されます。
	[ビューア] ウィンドウを最小化します。
	[ビューア] ウィンドウを最大化します。
	[ビューア] ウィンドウを終了します。

撮影した画像を確認する

アイコンエリア

	**戻る**	サムネイル選択エリアの画像の選択を 1 つ前の画像にします。キーボードの「←」キーで同様の操作が行えます。
	**進む**	サムネイル選択エリアの画像の選択を 1 つ先の画像にします。キーボードの「→」キーで同様の操作が行えます。
	**サムネイルサイズ変更**	サムネイル選択エリアに表示するサムネイルサイズを変更します。
	**サムネイル表示**	サムネイル選択エリアの表示 / 非表示を切り換えます。
	**フォーカスポイント表示**	［ビューア］ウィンドウ上の画像内に撮影時に使用したフォーカスポイント（エリア）を赤色で表示します。
	**全体表示**	［ビューア］ウィンドウの枠内に収まる大きさで画像全体が表示されます。最大の表示倍率は 100% です。
	**等倍表示**	画像が原寸大で表示されます。
	**50% 表示**	画像が原寸の 50% の大きさで表示されます。
	**削除**	現在表示している画像を削除します。キーボードの「Delete」（Macintosh の場合は ⌘＋「delete」）キーで同様の操作が行えます。

フォーカスポイント表示についてのご注意

以下の場合、フォーカスポイント（エリア）は表示されません。

- ニコン製デジタル一眼レフカメラ以外のカメラで撮影した画像
- 非 CPU レンズを装着して撮影した画像
- マニュアルフォーカスで撮影した画像
- ファインダー内のピント表示が消灯した状態で撮影した画像
- 他のアプリケーションで編集した画像

撮影した画像を確認する

サムネイル選択エリア

［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラからダウンロードされた画像を入れるフォルダ］で設定されたダウンロードフォルダ内の画像をファイル更新日時でソートし、そのサムネイルを新しい順に右から左に表示します。

画像表示エリア

サムネイル選択エリアまたは［戻る］/［進む］で選択されている画像を表示します。

［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラから新しい画像を受け取った時］で［ビューアに表示する］が設定されている場合は、画像がダウンロードされる度に、最新のダウンロード画像が表示されます。

D3、D300 をご使用の場合

［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラから新しい画像を受け取った時］で［ビューアに表示する］が設定されていると、サムネイル選択エリアには、画像がダウンロードされる前にカメラのバッファ内の画像のサムネイルも表示されます。バッファ内の画像のサムネイルはダウンロードフォルダ内の画像より右側に表示されます。バッファ内の画像のファイル名は、「-----」と表示されます。

バッファ内のサムネイルを選択すると、その画像のプレビュー画像が画像表示エリアに表示されます。

バッファ内の画像のサムネイルを削除すると、その画像はダウンロードされません。

インターバル撮影

インターバル撮影とは、一定間隔で複数枚を連続撮影することです。タイマーを設定し、自動で撮影することが可能です。

1 ［カメラ］メニューの［インターバル撮影］を選択します。

［インターバル撮影］ダイアログが表示されます。



インターバル撮影

2 次の項目を設定します。

[オートフォーカスを実行する]

チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影ごとにオートフォーカスを実行します。ただし、オフ □ の場合でも、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「AF-A（D80、D50、D40 シリーズ）」の場合はオートフォーカスを実行します。

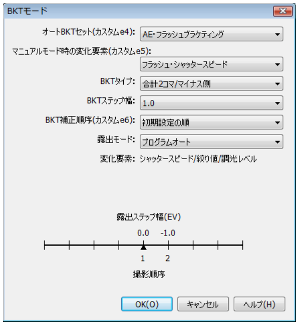
[キャンセルするまで撮影する]

チェックボックスをオン ☑ にすると、インターバル撮影進行ダイアログの［撮影を終了］ボタンをクリックするまでインターバル撮影を行います。

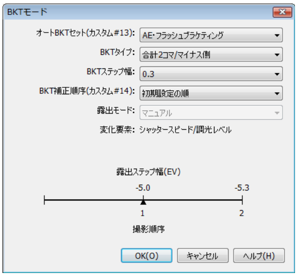
BKT モードの設定（D3 D2 シリーズ D300 D200 D80 D70 シリーズ D50）

［オート BKT］チェックボックスをオン ☑ にすると、オートブラケティングが実行されます。［BKT 設定］ボタンをクリックすると、［BKT モード］ダイアログでブラケティングを設定できます。

[オート BKT セット]	オートブラケティングを行う場合のブラケティングの種類を設定します。
[マニュアルモード時の変化要素] D3 D2 シリーズ D300 D200	露出モードを［M］にセットして、AE･SB ブラケティング、または AE ブラケティングを行った場合の変化要素を設定します。
[BKT タイプ] D3 D2 シリーズ D300 D200 D80 D70 シリーズ	オートブラケティング時の撮影コマ数と補正範囲を設定します。
[BKT ステップ幅]	オートブラケティング時の補正ステップ幅を設定します。
[BKT 補正順序] D3 D2 シリーズ D300 D200 D80 D70 シリーズ	オートブラケティングの補正順序を設定します。
[露出モード]	露出モードを選択します。



D3/D2 シリーズ /D300/D200
（画面は D3 です）



D80/D70 シリーズ /D50
（画面は D80 です）

インターバル撮影

3 ［撮影回数］に連続撮影する回数を 2 ～ 9999 の範囲で入力します。
［キャンセルするまで撮影する］チェックボックスがオン のときは入力できません。

4 ［タイマー］に撮影間隔を 1 秒から 99 時間 59 分 59 秒の範囲で入力します。

5 インターバル撮影を開始します。
［開始］ボタンをクリックすると、インターバル撮影が始まります。

- ［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラから新しい画像を受け取った時］で［Capture NX の監視フォルダに保存する］（Capture NX の監視フォルダが設定されている場合のみ）が選択されている場合、Capture NX（別売）の「監視フォルダ」で設定しているフォルダ内に撮影した画像が保存され、Capture NX であらかじめ設定していた各種画像調整内容をもとに自動保存処理（バッチ処理）を行います。監視フォルダの機能については Capture NX の使用説明書をご覧ください。

撮影間隔の設定について

撮影間隔の設定時には、以下のことに注意してください。

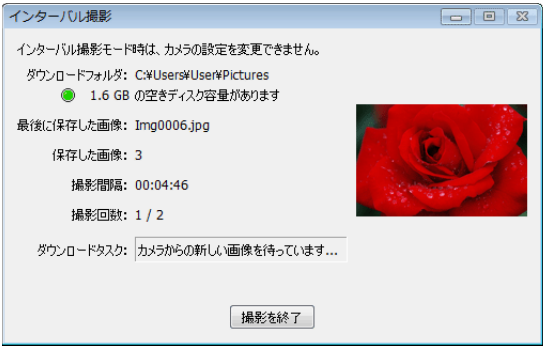
- 実際のインターバル撮影には、タイマー時間、シャッター速度の時間、データ転送時間、Camera Control Pro が処理を行う時間などが含まれます。そのため、設定した撮影間隔や画質モードと画像サイズによっては、設定した間隔で撮影できない場合があります。
- D1 シリーズでリチャージャブルバッテリー使用時に、オプション（環境設定）の［一般］パネルにある［半押しタイマーの作動時間］を 15 分に設定している場合は、撮影間隔を 15 分以上に設定しないでください。15 分以上の撮影間隔を設定したい場合は、AC アダプターをご使用ください。

重要

［インターバル撮影］ウィンドウを閉じるまで、［Camera Control Pro］ウィンドウは操作できません。

インターバル撮影

6 インターバル撮影処理進行ダイアログが表示されます。
インターバル撮影を中止するときは、［撮影を終了］ボタンをクリックします。



7 インターバル撮影が終了すると、［撮影を終了］ボタンが［撮影を完了］ボタンに変わります。［撮影を完了］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

インターバル撮影中のカメラ操作について

インターバル撮影中には、カメラの操作を行うことはできません。

警告ボタン ⚠

撮影時または処理中にエラーが発生した場合、［撮影を終了］（または［撮影を完了］）ボタンの隣に警告ボタン ⚠ が表示されます。警告ボタン ⚠ をクリックすると、警告メッセージが表示されます。指示に従い、［撮影を終了］（または［撮影を完了］）ボタンをクリックして、撮影を終了します。［エラーログ］ダイアログが開いて、発生したエラーのログが表示されます。［エラーログ］ダイアログの［OK］ボタンをクリックすると、［Camera Control Pro］ウィンドウに戻ります。

ハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は

撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、残りの空き容量を知らせるメッセージが表示されます。メッセージにしたがって、保存先または［撮影回数］を変更してください。

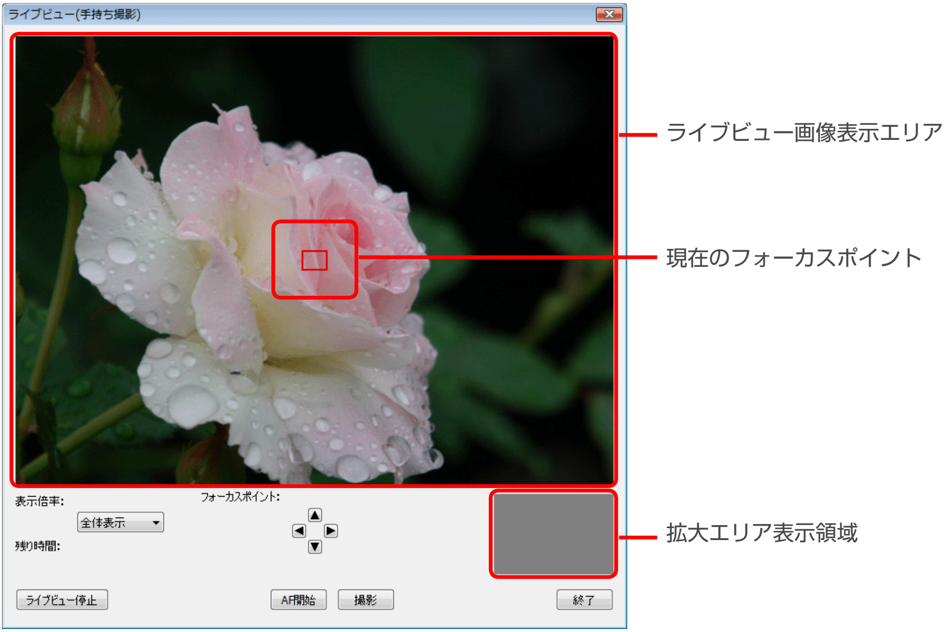
ライブビュー撮影

ライブビューモードをサポートするカメラ（D3、D300）を接続した場合、［カメラ］メニューに［ライブビュー (手持ち撮影)］と［ライブビュー (三脚撮影)］が選択できるようになります。いずれかを選択した場合、カメラの本体側での操作が禁止され、［ライブビュー］ウィンドウが表示されます。

カメラとの接続が切れた場合は［ライブビュー］ウィンドウは自動的に閉じられます。

ライブビュー (手持ち撮影)

［カメラ］メニューの［ライブビュー (手持ち撮影)］を選択すると、［ライブビュー (手持ち撮影)］ウィンドウが表示されます。



［ライブビュー開始］/［ライブビュー停止］ボタン	［ライブビュー開始］ボタンをクリックすると、ライブビューが開始します。ライブビュー中の場合、このボタンは［ライブビュー停止］と表示され、クリックするとライブビューが停止します。
ライブビュー画像表示エリア	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント（□）が表示されます。
［フォーカスポイント］	各ボタンの方向に現在のフォーカスポイントを移動できます。
［残り時間］	カメラの内部回路の温度が上昇した場合に、カメラが自動的にライブビュー撮影を終了するまでの残り時間のカウントダウンが表示されます。

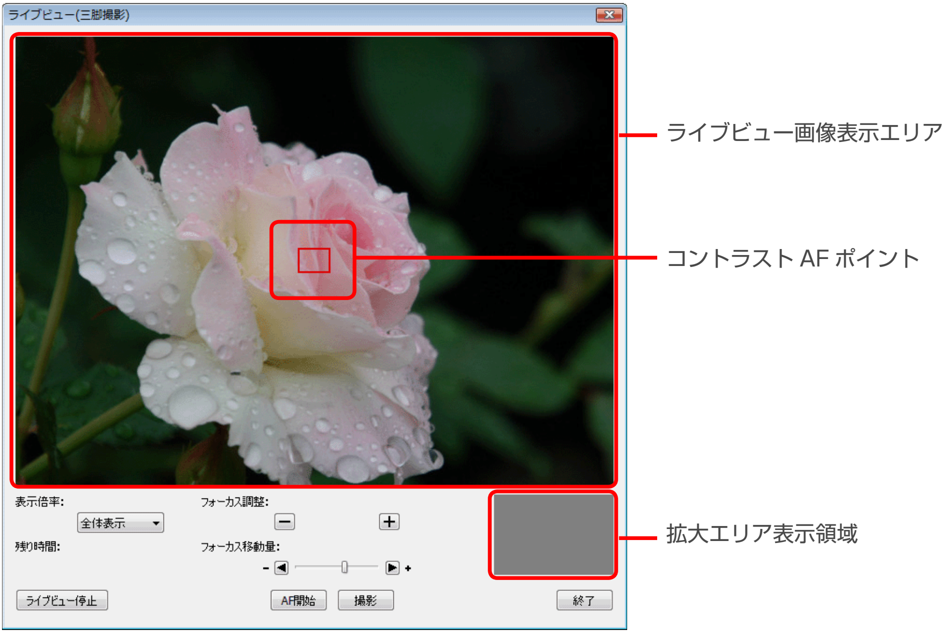
ライブビュー撮影

ライブビュー（手持ち撮影）	
［AF 開始］ボタン	通常のオートフォーカスによるピント合わせと測光を行います。
［撮影］ボタン	クリックと同時に撮影します。
［終了］ボタン	［ライブビュー（手持ち撮影）］ウィンドウを閉じます。
表示倍率	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
拡大エリア表示領域	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。

ライブビュー撮影

ライブビュー（三脚撮影）

［カメラ］メニューの［ライブビュー（三脚撮影）］を選択すると、［ライブビュー（三脚撮影）］ウィンドウが表示されます。



［ライブビュー開始］/［ライブビュー停止］	［ライブビュー開始］ボタンをクリックすると、ライブビューが開始します。ライブビュー中の場合、このボタンは［ライブビュー停止］と表示され、クリックするとライブビューが停止します。
ライブビュー画像表示エリア	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、コントラスト AF ポイント（□）が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所に AF ポイントが移動します。
残り時間	カメラの内部回路の温度が上昇した場合に、カメラが自動的にライブビュー撮影を終了するまでの残り時間のカウントダウンが表示されます。
表示倍率	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
拡大エリア表示領域	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。

ライブビュー撮影

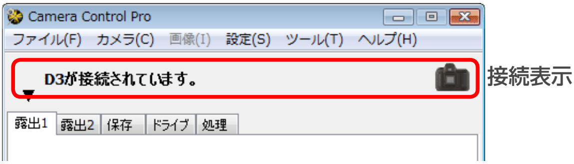
ライブビュー（三脚撮影）	
フォーカス調整	「+」/「−」ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、［フォーカス移動量］スライダーで変更します。「+」をクリックすると無限遠側、「−」をクリックすると近接側に調整できます。
フォーカス移動量	［フォーカス調整］ボタンをクリックしたときのフォーカス位置の移動量をスライダーで調整できます。
［AF 開始］ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンは［AF 中止］と表示され、クリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。 オートフォーカス実行中は、［フォーカス調整］、［フォーカス移動量］によるフォーカス位置の調整は行えません。
［撮影］ボタン	クリックと同時に撮影します。
［終了］ボタン	［ライブビュー（三脚撮影）］ウィンドウを閉じます。

Camera Control Pro の各機能

［Camera Control Pro］ウィンドウの各パネルには、現在カメラに設定されている値が表示されます。タブをクリックしてパネルを表示させ、設定内容を参照したり、変更することができます。各パネルの項目の内容は、この後の「Camera Control Pro パネルの設定」を参照してください。

接続表示

カメラの接続状況を表示します。



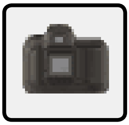
［カメラ名］ 現在接続しているカメラ名を表示します。

［カメラの向き］アイコン

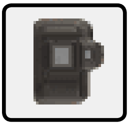
（D3　D2 シリーズ　D300　D200　D80　D70 シリーズ　D50　D40 シリーズ）

現在接続しているカメラの向きを表します。［水平］、［時計回りに 90° 回転］、［反時計回りに 90° 回転］の 3 種類のアイコンが表示されます。

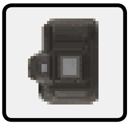
カメラのセットアップメニューの［縦横位置情報の記録］（D3、D2 シリーズ、D300、D200、D80、D40 シリーズ）または［姿勢情報記録］（D70 シリーズ、D50）が記録する設定（ON）の場合のみ有効です。記録しない設定（OFF）の場合は、［カメラの向き］アイコンは表示されません。



水平



時計回りに 90° 回転

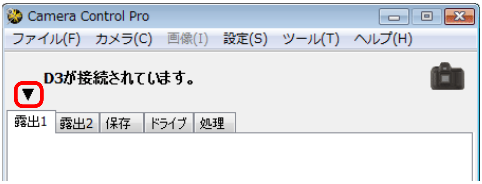


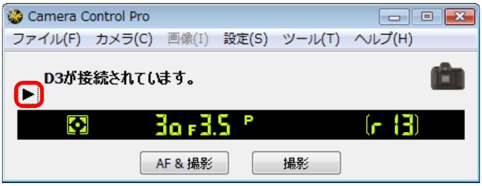
反時計回りに 90° 回転

Camera Control Pro の各機能

表示切り換えボタン ▼ / ▶

表示切り換えボタン ▼ / ▶ をクリックすると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。





LCD 領域

ウィンドウの下部にある LCD 領域には、カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されます。ただし、カメラのエラー情報が表示されないなどの若干の違いがあります。



変更可能な項目を LCD 領域でクリックすると、［Camera Control Pro］ウィンドウの該当するパネルが自動的に表示されます。

D1 シリーズ、D100 以外の場合、LCD 領域の右端にカメラのバッファの連続撮影可能コマ数が表示されます。Camera Control Pro は、定期的にカメラから連続撮影可能コマ数を取得して表示するため、カメラ本体に表示される実際の連続撮影可能コマ数との間に一時的にずれが生じる場合があります。

Camera Control Pro の各機能

撮影ボタン

現在のカメラ設定で、または設定内容を変更したあとで、以下のうちいずれかのボタンをクリックすると撮影できます。



[AF & 撮影]	自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
[撮影]	クリックと同時に撮影します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「AF-A（D80、D50、D40 シリーズ）」の場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

また、D3、D2 シリーズ、D300、D200 で［レリーズモード（動作モード）］を［低速連続撮影］または［高速連続撮影］、D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズで［撮影動作モード］を［連続撮影］に設定すると、［AF& 撮影］ボタンが［AF& 開始］ボタンに、［撮影］ボタンが［開始］ボタンに変わって、パソコンからの連続撮影が可能になります。

[AF & 開始]	自動的に一度ピントを合わせてから連写を開始します。
[開始]	クリックと同時に連写を開始します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「AF-A（D80、D50、D40 シリーズ）」の場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

D100 のファンクションダイヤルについて

ファンクションダイヤルが［WB］、［ISO］、［QUAL］または［+］に設定されている場合は、［LCD 領域］には何も表示されません。また、撮影ボタンを使って画像の撮影を行うことはできません。ファンクションダイヤルを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかの露出モードに設定してください。

補足 D1 シリーズ D100

連続撮影はカメラ本体のシャッターボタン操作でのみ可能です。［Camera Control Pro］ウィンドウの撮影ボタンでは、常に 1 枚ずつの撮影になります。

Camera Control Pro の各機能

重要

カメラコントロール機能では、次のカメラ制御はできません。カメラ本体を直接操作してください。

	機能	カメラ機種
表示も制御もできない機能	連写	D1 シリーズ D100
	コンティニュアスフォーカス機能	対応するすべての機種
	フォーカスロック	対応するすべての機種
	AF のみの動作（[AF & 撮影］ボタンによる撮影時の AF を除く）	対応するすべての機種
	絞りリングによる絞り制御（カスタムセッティングに依存）	D3 D2 シリーズ D1 シリーズ D300 D200
	スリープの解除	D1 シリーズ
	被写界深度のプレビュー	対応するすべての機種
	ブラケティング制御	D1 シリーズ D100
	RAW 画像の圧縮	D100
	ファンクションボタンの機能	D3 D2 シリーズ D300 D200
	レリーズ（動作）モードのセルフタイマー撮影の設定	D3 D2 シリーズ D300 D200 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ
	撮影動作モードのリモコン撮影の設定	D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ
制御できないが表示のみ可能な機能	セレクトダイヤルによるフォーカスモード切り換え	対応するすべての機種
	測光モード切り換え	D1 シリーズ D100
	露出モード切り換え **	D100 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ
	撮影動作モード切り換え	D100
	シャッタースピードのロック *	D3 D2 シリーズ D1 シリーズ
	絞りのロック *	D3 D2 シリーズ D1 シリーズ
	AE ロック *	対応するすべての機種
	別売スピードライトの調光補正量	D3 D2 シリーズ D1 シリーズ D300
	レリーズ（動作）モードのミラーアップの設定	D3 D2 シリーズ D300 D200
	グループダイナミック AF の分割パターン 2 の中心位置パターン	D2 シリーズ D200

* これらのロックの状態は、LCD 表示エリアにて確認することができます。

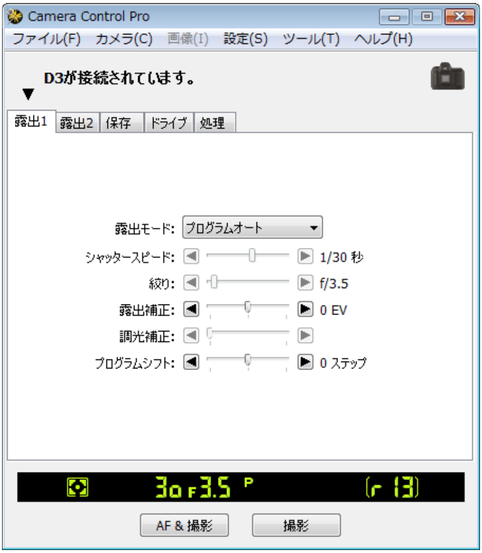
** D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズの場合、［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされていないときは、「露出モードの切り換え」が制御可能となります。

Camera Control Pro パネルの設定

以下に、各パネルで設定できる項目について説明します。

[露出 1] パネル

[露出 1] パネルでは、次の項目を設定できます。



[露出モード]	露出モードを選択することができます（非 CPU レンズを装着した場合の露出モードについては、「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください）。 D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズで [カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされている場合および D100 では、カメラ側で設定されている露出モードが表示されますが、Camera Control Pro で変更することはできません。露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[シャッタースピード]	露出モードが「マニュアル」または「シャッター優先オート」のときにだけ変更できます。各カメラに設定可能なシャッタースピードの範囲でシャッタースピードを変更できます。シャッタースピードを高速に設定すると、動いている被写体を止まっているように撮影できます。逆に、スピード感を出したいときは、シャッタースピードを低速に設定します。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 1] パネル	
[絞り]	露出モードが［マニュアル］または［絞り優先オート］のとき、開放絞り値から最小絞り値の範囲で絞り値を変更できます。絞り値が大きいほど、絞りは小さくなります。ただし、D1 シリーズのカスタムセッティング No.22 で［レンズの絞りリングによる絞りセット］を行っている場合は変更できません。非 CPU レンズを装着したカメラを接続した場合については「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください。
[露出補正]	露出補正とは、カメラが適切と判断した露出値を意図的に変更することです。たとえば、被写体にコントラストの強いものがあるために露出をずらして撮影する場合などに使用します。露出補正は、すべての露出モード時に変更できます。
[調光補正] D300 D200 D100 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ	調光補正とは、フラッシュとカメラが行う適正な調光を意図的に変えることをいいます。たとえば、発光量を多くして主要被写体を一段と明るく照らしたいとき、あるいは発光量を少なくして、主要被写体に光が強く当たりすぎないようにしたいときなどに使用します。
[プログラムシフト]	露出モードが［プログラムオート］のとき、シャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できます。

D100 のファンクションダイヤルについて

ファンクションダイヤルが［WB］、［ISO］、［QUAL］または［+］に設定されている場合は、［露出 1］パネルの操作はできません。ファンクションダイヤルを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかの露出モードに設定してください。

Bulb を使用するときは

露出モードを［マニュアル］にすると、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いたままとなる長時間露出（Bulb またはバルブ）撮影の設定ができます。ただし、この場合、カメラ本体での Bulb 操作は可能ですが、Camera Control Pro からの操作はできません（［撮影］ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます）。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル

[露出 2] パネルでは、次の項目を表示および設定できます。



[フォーカスポイント] [フォーカスエリア]	オートフォーカスで撮影するとき、被写体の位置や構図に合わせて、使用するフォーカスポイント（エリア）を上下左右のボタンで選択します。フォーカスポイント（エリア）については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。AF エリアモードとフォーカスモードについては、[ドライブ] パネルをご覧ください。
[測光モード]	カメラに設定されている測光モードが表示されます。 D1 シリーズ、D100 の場合、Camera Control Pro からは変更できません。 D3、D2 シリーズ、D300、D200 の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているときは、カメラで設定した測光モードが表示され、Camera Control Pro 上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定した測光モードがデフォルト（初期値）として表示されますが、Camera Control Pro 上で変更することもできます。 D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズの場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているいないにかかわらず、Camera Control Pro 上で変更することができます。測光モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro パネルの設定

［露出 2］パネル	
［シンクロモード］	フラッシュ撮影の場合に、撮影の目的や意図に合わせて、5 つのシンクロモードから 1 つを選択します。シンクロモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［感度］	撮像感度を標準よりも高く設定することができ、暗いところでの撮影にも対応しています。撮像感度は、プルダウンメニューで設定します。設定可能な撮像感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［オート］ D2 シリーズ D100 D200 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ	［オート］チェックボックスをオン ☑ にすると、感度自動制御が設定されます。
［感度自動制御］ D3 D300	［感度自動制御］チェックボックスをオン ☑ にすると、感度自動制御が設定されます。
［詳細］ボタン D3 D300	このボタンは、感度自動制御が設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、［感度自動制御］ダイアログが表示されます。 ［感度自動制御］ダイアログでは、［制御上限感度］と［低速限界設定］を設定することができます。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[ホワイトバランス]	さまざまな照明光の環境下でも白い被写体ができるだけ「白」に見えるように、照明光の色に合わせてホワイトバランスを調整できます。ホワイトバランスについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[微調整] D1 シリーズ　D2 シリーズ　D200 D100　D80　D70 シリーズ D40 シリーズ	各ホワイトバランスに対する微調整が可能です。−3 から+3 の範囲で調整値を設定します。[露出 2] パネルの [微調整 ...] ボタンをクリックすると、[ホワイトバランス微調整] ダイアログが表示されます。 [露出 2] パネルの [ホワイトバランス] で「オート」を選択している場合は、[オート] スライダーで設定した値でさらに自動調整します。 [リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。 

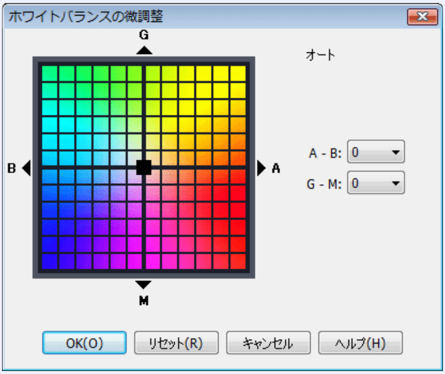
微調整を行うことのできないホワイトバランスについて

[ホワイトバランス調整] を [プリセット] または [自然光（色温度選択)]（D2 シリーズ、D200）に設定している場合には、[微調整] ボタンは使用できません。

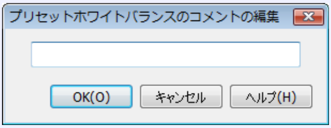
補足

画像に特殊な効果を持たせたいときには、意図的にホワイトバランスを変えるという使い方もできます。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[微調整] D3　D300	[ホワイトバランス] で選択した（選択されているホワイトバランス名はダイアログの右上に表示されます）それぞれのホワイトバランスに対する微調整が可能です。 A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の 4 方向で、各方向 6 段まで微調整できます。設定した各方向の色に画像を補整します。A、B 方向（横軸）は色温度の高さを、G、M 方向（縦軸）は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整ができます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。 [リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。 
[蛍光灯] D3　D300	[ホワイトバランス] で [蛍光灯] を選択したときにのみ表示されます。 蛍光灯の種別を選択できます。
[色温度] D3　D2 シリーズ D300　D200	[ホワイトバランス] で [自然光（色温度選択）] を選択したときにのみ表示されます。 色温度を選択できます。
[コメント] D3　D2 シリーズ D300　D200	ホワイトバランスの各プリセットデータに対するコメントを表示します。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[編集] ボタン D3　D2 シリーズ D300　D200	このボタンは、ホワイトバランスがプリセットマニュアルに設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、次の［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログが表示されます。 ［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログでは、ホワイトバランスの各プリセットデータのコメントを編集することができます。ここでは、36 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「ホワイトバランスプリセットの［プリセットホワイトバランスのコメントの編集]ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。 

［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログに入力可能な記号

D3　D2 シリーズ　D300　D200

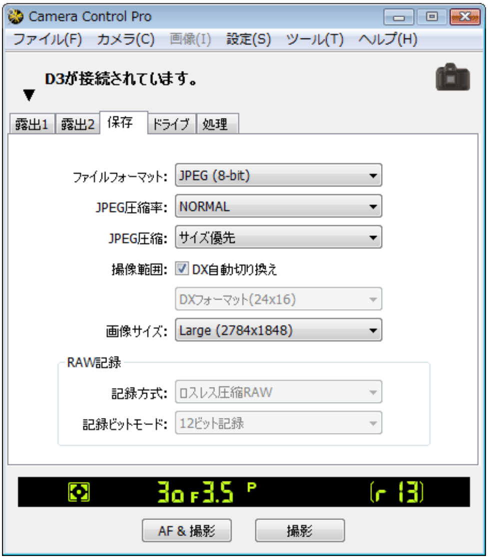
［コメント編集］ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「 (スペース)」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

Camera Control Pro パネルの設定

［保存］パネル

［保存］パネルでは、画質モードに関する項目を表示および設定できます。



［ファイルフォーマット］	接続しているカメラがサポートしているファイル形式を選択できます。ファイル形式は、ビット数やファイルサイズを決定する基準になります。ファイル形式については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［JPEG 圧縮率］	［ファイルフォーマット］で以下を選択した場合、JPEG 画像の圧縮方式を選択できます。 D3　D300：［JPEG（8-bit)］、［RAW ＋ JPEG（8-bit)］ D2 シリーズ　D200　D80：［JPEG（8-bit)］または［RAW（12-bit) ＋ JPEG（8-bit)］ D1 シリーズ　D100　D70 シリーズ　D50　D40 シリーズ：［JPEG（8-bit)］
［JPEG 圧縮］ D3　D2X　D2Xs D2Hs　D300　D200	JPEG 画像の圧縮時にファイルサイズと画質のどちらを優先するかを、［サイズ優先］と［画質優先］から選択できます。

［JPEG 圧縮率］について　D70 シリーズ　D50　D40 シリーズ

D70 シリーズ、D50、D40 シリーズの場合、［RAW（12-bit）＋ JPEG（8-bit)］のときは、圧縮率が［BASIC］で固定となります。

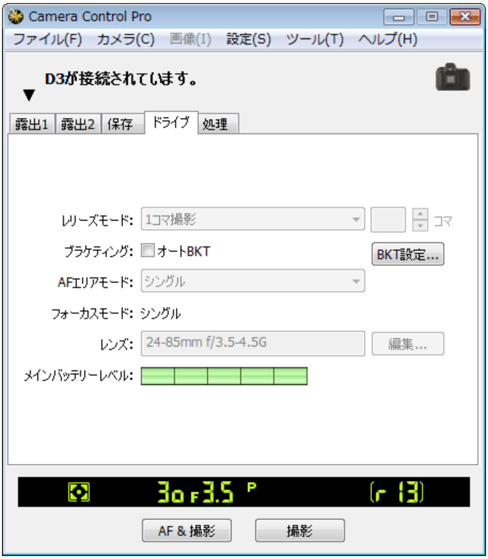
Camera Control Pro パネルの設定

[保存] パネル	
[カラー] D1 シリーズ	保存形式として［カラー］か［モノクロ］のどちらかを選択できます。［ファイルフォーマット］に［RAW］を選択した場合にのみ、カラーに固定されます。
[撮像範囲] D3	［DX 自動切り換え］チェックボックスをオン ☑ にすると、DX レンズを装着した場合、自動的に DX フォーマットに切り換えます。 オフの場合は、メニューで選択されている撮像範囲に設定されます。
[画像サイズ]	画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[RAW 圧縮] D1X D1H D2 シリーズ D200	［ファイルフォーマット］で［RAW（12-bit）＋ JPEG（8-bit)］（D2 シリーズ、D200）または［RAW（12-bit)］を選択した場合に、撮影する RAW 画像の圧縮を行うかどうか設定できます。チェックボックスをオン ☑ にすると、RAW 画像の圧縮を行います。
[クロップ高速] D2X D2Xs	［クロップ高速］チェックボックスをオン ☑ にすると、ファインダー内のクロップ高速参照エリア内のみを画像として記録します。このため、通常よりも高速に、より多くのコマ数を連続撮影できます。
[RAW 記録] D3 D300	［ファイルフォーマット］で［RAW］または［RAW ＋ JPEG（8-bit)］を選択した場合、RAW データの［記録方式］と［記録ビットモード］を選択できます。

Camera Control Pro パネルの設定

［ドライブ］パネル

［ドライブ］パネルでは、カメラの操作に関する項目を表示および設定できます。



［レリーズモード］ ［動作モード］	D1 シリーズ：カメラとパソコンを接続したときの撮影モードを［1 コマ撮影］または［連続撮影］に設定できます。また、ここでの変更はカメラのカスタムセッティング #30［PC モード時の動作設定］の設定に反映されます。 D100：カメラ側で設定されているモードが表示されますが、パソコン上で変更することはできません。 D3　D2 シリーズ　D300　D200：[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているときは、カメラで設定したレリーズ（動作）モードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定したレリーズ（動作）モードにかかわらず、［1 コマ撮影］、［低速連続撮影］、［高速連続撮影］から選択することができます。 D80　D70 シリーズ　D50　D40 シリーズ：［1 コマ撮影］、［連続撮影］から選択することができます。カメラ本体の［撮影動作モード］を［セルフタイマー撮影］、［2 秒リモコン撮影］、［瞬時リモコン撮影］に設定した場合、［1 コマ撮影］になります。

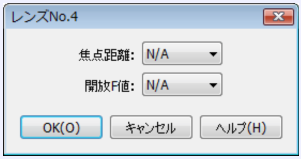
［AF& 撮影］／［撮影］ボタン

レリーズ（動作）モードが［低速連続撮影］または［高速連続撮影］（ともに D3、D2 シリーズ、D300、D200）、［連続撮影］（D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズ）の場合、Camera Control Pro の［AF& 撮影］ボタンが［AF& 開始］ボタンに、［撮影］ボタンが［開始］ボタンに変わります。

Camera Control Pro パネルの設定

［ドライブ］パネル	
［撮影コマ数］ D3 D2 シリーズ D300 D200 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ	△または▽をクリックするか、テキストボックスに直接入力して、連続撮影可能コマ数を設定します。レリーズ（動作）モードが［低速連続撮影］または［高速連続撮影］（ともに D3、D2 シリーズ、D300、D200）、［連続撮影］（D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズ）に設定されている場合にのみ、有効になります。入力できるコマ数は、撮影時の画質モードによって異なります。カメラ側の設定により連写可能なコマ数は異なります。LCD 領域右端に表示されたカメラの連続撮影可能コマ数を確認し、それより小さな値を入力して下さい。連続撮影可能コマ数より大きな値を入力した場合には、入力した値が赤く表示されます。
BKT モードの設定 D3 D2 シリーズ D300 D200 D80 D70 シリーズ D50	［オート BKT］チェックボックスをオン ☑ にすると、オートブラケティングが実行されます。［BKT 設定］ボタンをクリックすると、［BKT モード］ダイアログでブラケティングを設定できます。 詳しくはインターバル撮影の手順 2 をご覧ください。
［AF エリアモード］	フォーカスエリアを設定します。D3、D2 シリーズ、D300、D200 の場合、［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされているときは、カメラで設定した AF エリアモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定した AF エリアモードがデフォルト（初期値）として表示されますが、パソコン上で変更することができます。AF エリアモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［フォーカスモード］	カメラに設定されているフォーカスモードが表示されます。D80、D50、D40 シリーズの場合、パソコン上でフォーカスモードを変更できますが、その他のカメラでは Camera Control Pro からは変更できません。フォーカスモードは、カメラ上で設定してください。フォーカスモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro パネルの設定

[ドライブ] パネル	
[レンズ]	現在カメラに装着されているレンズの焦点距離と開放 F 値などのレンズ情報が表示されます。ただし、装着しているレンズによっては表示されない情報があります。また、D2 シリーズ、D200 で [レンズ定義] ダイアログで手動設定した場合、その値が、「*」マーク付きで表示されます。D3、D300 で CPU レンズ装着時以外は、手動で登録したレンズ情報が表示され、選択できます。
[編集] ボタン D3　D2 シリーズ D300　D200	このボタンは、非 CPU レンズがカメラに装着されている場合にのみ有効です。クリックすると、[レンズ定義] ダイアログが表示されます。 [レンズ定義] ダイアログでは、レンズの焦点距離と開放 F 値を設定することができます。[OK] ボタンをクリックすると、設定した焦点距離と開放 F 値が、カメラに送信されます。 
[メインバッテリーレベル]	カメラのメインバッテリーの残量レベルを表示します。緑色の表示は充分に残量があることを示します。黄色の表示はバッテリーの残量が少なく、充電された予備のバッテリーを準備する必要があることを示します。赤色の表示はバッテリーが消耗していて、交換しなければ撮影できないことを示します。この場合、Camera Control Pro はカメラを制御できなくなることがあります。充電されたリチャージャブルバッテリーまたは AC アダプターをご使用ください。
[時計バッテリーレベル] D1 シリーズ	カメラの時計バッテリー残量レベルを示します。黄色または赤色の表示になりましたらニコンサービス機関に時計バッテリーの交換（有料）をお申し付けください。

セルフタイマー撮影について（D1 シリーズ 以外）

Camera Control Pro の撮影ボタンを使って、セルフタイマー撮影を行うことはできません。カメラでセルフタイマーにセットしても、レリーズ（動作）モードは [1 コマ撮影] と表示され、[撮影] ボタンを押しても 1 コマ撮影となります。セルフタイマー撮影を行う際は、カメラのシャッターボタンを使用してください。

ライブビュー撮影について D3 D300

カメラのレリーズモードダイヤルを **Lv** にセットしても、[レリーズモード] は [1 コマ撮影] と表示され、[撮影] ボタンを押しても 1 コマ撮影となります。ライブビュー撮影を行う際は、[カメラ] メニューの [ライブビュー（手持ち撮影）] または [ライブビュー（三脚撮影）] を選択してください。

Camera Control Pro パネルの設定

連続撮影可能コマ数について（D1 シリーズ D100 以外）

連続撮影を行っている間、撮影した画像をカメラからパソコンに随時転送します。そのため、転送待ちの画像がある場合には、実際に撮影できるコマ数は、LCD 領域に表示される連続撮影可能コマ数よりも少なくなる場合があります。

非 CPU レンズを装着した場合

カメラに非 CPU レンズを装着した場合、Camera Control Pro の動作は CPU レンズ装着時とは異なり、また、行うことのできる操作は制限されます。非 CPU レンズ装着時の動作は次のようになります。Camera Control Pro では使用できない操作も、カメラ本体で使用することができます。カメラの操作方法に関してはカメラの使用説明書をご覧ください。

<table>
<tr><th></th><th>D3 D2 シリーズ D300 D200</th><th>D1 シリーズ</th><th>D100</th><th>D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ</th></tr>
<tr><td>露出モード *</td><td colspan="2">［絞り優先オート］
または［マニュアル］のみ
選択可能</td><td>変更不可で
カメラ側の設定を
表示する</td><td>［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされている場合：
変更不可でカメラ側の設定を表示する
［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされていない場合：
全モードを選択可能。ただし［マニュアル］以外では撮影できない</td></tr>
<tr><td>シャッタースピード</td><td colspan="4">露出モードが［マニュアル］の場合のみ変更可能</td></tr>
<tr><td>絞り</td><td>レンズ定義した場合：設定した値に「*」マークを付けて表示する
レンズ定義していない場合：変更不可で「f/--」と表示する</td><td colspan="3">変更不可で
「f/--」と表示する</td></tr>
<tr><td>AF&撮影ボタン</td><td colspan="4">使用不可</td></tr>
<tr><td>撮影ボタン</td><td colspan="2">使用可能</td><td colspan="2">使用可能 **</td></tr>
</table>

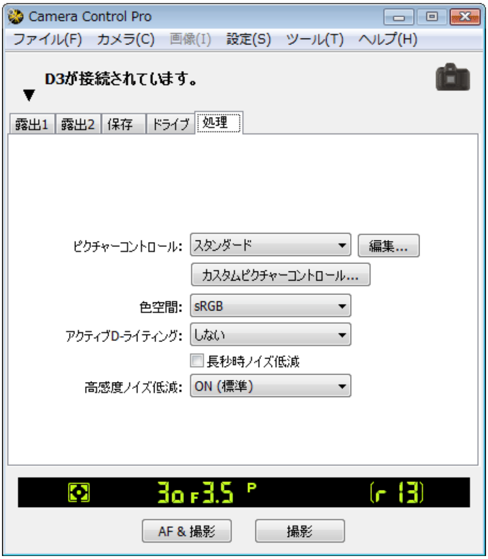
* D100、D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズは非 CPU レンズ使用時、［マニュアル］以外では撮影できません。
** 露出モードが［マニュアル］以外の場合、「露出モードを［マニュアル］に設定してください」というメッセージが表示されます。

Camera Control Pro パネルの設定

［処理］パネル（D3 D300）

［処理］パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。

※ D3、D300 以外の処理パネルは［処理パネル］（D3、D300 以外のカメラ）をご覧ください。



［ピクチャーコントロール］	ピクチャーコントロールの種類を選択します。ピクチャーコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［編集］ボタン	クリックすると、選択したピクチャーコントロールの調整ダイアログが表示されます。詳しくは、調整ダイアログをご覧ください。
［カスタムピクチャーコントロール］ボタン	クリックすると、カスタムピクチャーコントロールの設定を行うダイアログが表示されます。詳しくは、［カスタムピクチャーコントロール］ダイアログをご覧ください。
［色空間］	撮影する画像の色空間を設定します。色空間については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
アクティブ D- ライティング	アクティブ D- ライティングを設定します。アクティブ D- ライティングについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

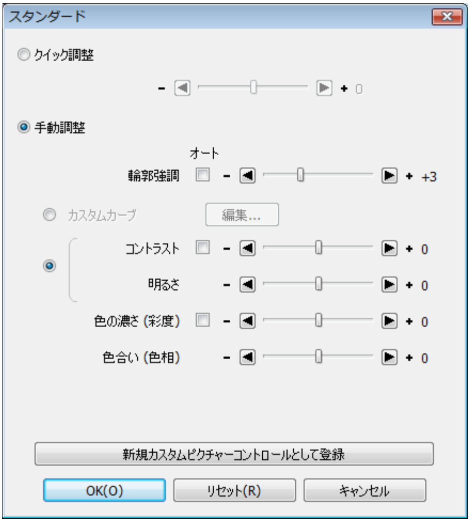
Camera Control Pro パネルの設定

[処理] パネル	
[長秒時ノイズ低減]	シャッタースピードが低速になると、画像にノイズが入る場合があります。[長秒時ノイズ低減] チェックボックスをオン ☑ にすると、このノイズを低減させることができます。シャッタースピードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[高感度ノイズ低減]	撮像感度が高感度になると、画像にざらつき（ノイズ）が入る場合があります。選択できるメニューと [高感度ノイズ低減] が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro パネルの設定

調整ダイアログ

［編集］ボタンをクリックすると、［ピクチャーコントロール］メニューで選択したピクチャーコントロールの調整ダイアログが表示されます。



モノクローム以外



モノクローム

［クイック調整］ （モノクローム以外）	［クイック調整］スライダーでは、［輪郭強調］、［コントラスト］、［色の濃さ（彩度）］が一度に調整できます。 ［クイック調整］を選択した場合、［手動調整］は選択できません。
［手動調整］ （モノクローム以外）	［輪郭強調］、［コントラスト］、［明るさ］、［色の濃さ（彩度）］、［色合い（色相）］の各スライダーで、それぞれ個別に調整できます。 ［手動調整］を選択した場合、［クイック調整］は選択できません。
［輪郭強調］	スライダーの移動で、輪郭の強弱を調整します。［オート］チェックボックスをオン ☑ にすると、自動的に輪郭を強調します。 ［手動調整］を選択した場合、調整可能となります。

Camera Control Pro パネルの設定

調整ダイアログ	
[カスタムカーブ]	[カスタムカーブ] を選択すると、[編集] ボタンが使用可能となります。クリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログが表示され、階調補正テーブルを編集できます。 [コントラスト] & [明るさ] を選択した場合、[カスタムカーブ] は選択できません。
[コントラスト] [明るさ]	[コントラスト] & [明るさ] を選択すると、各スライダーで、それぞれを調整できます。コントラストの [オート] チェックボックスをオン ☑ にすると、自動的にコントラストを調整します。 [カスタムカーブ] を選択した場合、[コントラスト] & [明るさ] は選択できません。
[色の濃さ（彩度)] （モノクローム以外）	スライダーの移動で、画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。[オート] チェックボックスをオン ☑ にすると、自動的に色の濃さ（彩度）を調整します。
[色合い（色相)] （モノクローム以外）	スライダーの移動で、画像の色合いを調整します。
フィルター効果 （モノクロームのみ）	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果をメニューから選択します。
調色 （モノクロームのみ）	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調をメニューから選択します。また、選択した調色の濃淡をスライダーで調整できます。

[カスタムカーブ] について

ニコンピクチャーコントロールの調整で [カスタムカーブ] を選択した場合は、ニコンピクチャーコントロールとしては保存できません。保存する場合は、[新規カスタムピクチャーコントロールとして登録] ボタンでカスタムピクチャーコントロールとして登録してください。

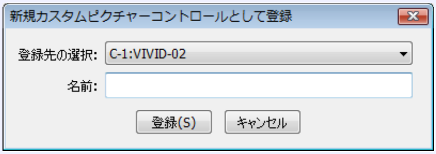
ニコンピクチャーコントロールについて

ニコンが提供するピクチャーコントロールを総称して「ニコンピクチャーコントロール」といいます。「ニコンピクチャーコントロール」には、カメラにあらかじめ搭載されている「ピクチャーコントロール」とニコンのホームページからダウンロードできる「オプションピクチャーコントロール」があります。ピクチャーコントロールについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

[コントラスト] [明るさ] について

[処理] パネルのアクティブ D- ライティングを [しない] 以外に設定した場合、[ピクチャーコントロール] の [コントラスト] と [明るさ] レベル調整は選択できません。

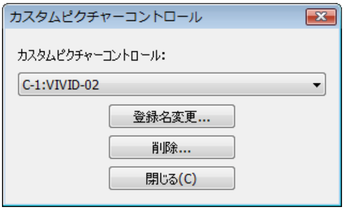
Camera Control Pro パネルの設定

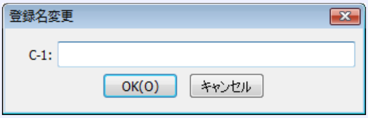
調整ダイアログ	
[新規カスタムピクチャーコントロールとして登録] ボタン	クリックすると、[新規カスタムピクチャーコントロールとして登録] ダイアログが表示されます。[登録先] を選択し、[名前] を入力して [登録] ボタンをクリックして、調整したピクチャーコントロールを登録します。
[OK] ボタン	調整したピクチャーコントロールが保存され、ダイアログを閉じます。
[リセット] ボタン	調整したピクチャーコントロールは、初期状態にリセットされます。カスタムピクチャーコントロールの場合は、最初に保存した状態にリセットされます。
[キャンセル] ボタン	調整したピクチャーコントロールは保存されずに、ダイアログを閉じます。

Camera Control Pro パネルの設定

[カスタムピクチャーコントロール] ダイアログ

[カスタムピクチャーコントロール] ボタンをクリックすると、[カスタムピクチャーコントロール] ダイアログが表示されます。

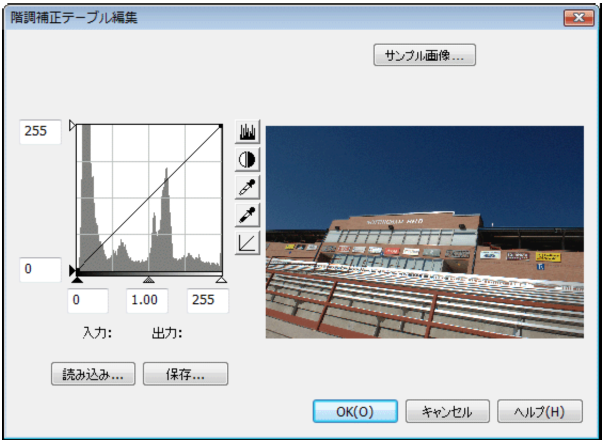


[カスタムピクチャーコントロール]	登録名変更または削除するカスタムピクチャーコントロールを選択します。
[登録名変更] ボタン	クリックすると、[登録名変更] ダイアログが表示されます。変更する登録名を入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。 
[削除] ボタン	選択されているカスタムピクチャーコントロールを削除します。 登録されているカスタムピクチャーコントロールがない場合、このボタンは使用できません。
[閉じる] ボタン	[カスタムピクチャーコントロール] ダイアログを閉じます。

Camera Control Pro パネルの設定

[階調補正テーブル編集］ダイアログ

［カスタムカーブ］の［編集］ボタンをクリックすると、［階調補正テーブル編集］ダイアログが開きます。



このダイアログの機能はカメラの階調補正テーブルを作成するもので、サンプル画像で確認しながら、シャドー、ハイライト、中間調や、最小出力値、最大出力値などを編集することができます。独自の階調を作成して、カメラに適用することができます。

編集できるのはマスターカーブ（「RGB」チャンネルのカーブ）だけで、カーブ上に追加できるポイントは 20 個までです。グレー点の追加はできません。

［読み込み］ボタンをクリックすると、［階調補正テーブル編集］ダイアログで保存したトーンカーブファイル(.ntc)を選択して画像に適用することができます。次の設定ファイルが読み込み可能です。

- ［保存］ボタンで保存したトーンカーブファイル（.ntc）
- Nikon Capture（別売）で保存した［トーンカーブ］ファイル（.ncv）
- Capture NX（別売）で保存した［レベルとトーンカーブ］のデータを含んだ設定ファイル（.set）

［保存］ボタンをクリックすると、［階調補正テーブル編集］ダイアログで編集したカーブをトーンカーブファイル（.ntc）の形式で保存することができます。

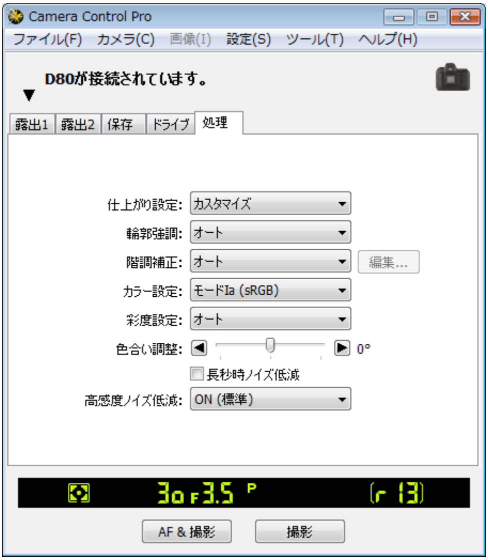
［サンプル画像］ボタンをクリックすると、画像調整のサンプル画像を選択して表示します。ただし、サンプル画像として使用できるのは、カメラで作成された RAW 画像のみです。

［OK］ボタンをクリックすると、編集したカーブが編集中のピクチャーコントロールに反映されます。

Camera Control Pro パネルの設定

[処理] パネル（D3、D300 以外のカメラ）

[処理] パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。



[仕上がり設定] D200 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ	撮影する画像の仕上がりを設定します。D80 の場合、[白黒（カスタマイズ)] を選ぶと、[カスタマイズ] の設定とは別に、白黒写真用に [輪郭強調]、[階調補正]、[フィルター効果] を設定できます。仕上がり設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[輪郭強調]	撮影状況や好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。輪郭を強調する度合いを選択し、意図的に調整できます。なお、D1 でファイル形式を RAW にした場合は、常に [しない] 状態になります。輪郭強調については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[階調補正]	階調補正を設定して、画像のコントラストや明るさを調整します。[ユーザーカスタム]（D2Xs の場合は [ユーザーカスタム 1 ～ 3]）を選択して、[編集] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログが表示されます。階調補正に関しては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

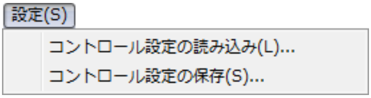
Camera Control Pro パネルの設定

[処理] パネル	
[フィルター効果] D80	撮影した画像に白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果を設定します。フィルター効果は、[仕上がり設定] で [白黒(カスタマイズ)] を選んだ場合にのみ設定できます。フィルター効果については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[色空間] D2X D2Xs D200	撮影する画像の色空間を設定します。色空間については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[カラー設定] D1X D1H D2 シリーズ D100 D200 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ	撮影する画像のカラーモードを設定します。カラー設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[彩度設定] D200 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ	撮影する画像のあざやかさを設定します。彩度設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[色合い調整] D1X D1H D2 シリーズ D100 D200 D80 D70 シリーズ D50 D40 シリーズ	撮影する画像に対して色合いの調整が可能です。D2 シリーズ、D100、D200、D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズでは、− 9° から＋ 9° (1 ステップ 3°)の 7 段階で 0° がデフォルト(初期値) です (D1X、D1H の場合、[− 9°] が [0] に、[0°] が [3] に、[9°] が [6] に相当します)。肌色を基準とした場合、数値を高くすると黄色みが増し、数値を低くすると赤みが増します。
[長秒時ノイズ低減] D2 シリーズ D200 D100 D80 D70 シリーズ D50	シャッタースピードが低速になると、画像にノイズが入る場合があります。[長秒時ノイズ低減] チェックボックスをオン ☑ にすると、このノイズを低減させることができます。シャッタースピードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[高感度ノイズ低減] D2X D2Xs D2Hs D200 D80	撮像感度が高感度になると、画像にざらつき (ノイズ) が入る場合があります。選択できるメニューと [高感度ノイズ低減] が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[ノイズ低減] D40 シリーズ	シャッタースピードが低速になったり、高感度で撮影すると、画像にノイズが入る場合があります。[ノイズ低減] チェックボックスをオン ☑ にすると、シャッタースピードが低速になったり、高感度になったときのノイズを低減させることができます。

コントロール設定の保存と読み込み

［Camera Control Pro］ウィンドウの各パネルで設定した内容をファイルに保存したり、読み込んで使うことができます。

［設定］メニューから次のメニュー項目を選択して、設定の保存や読み込みを行います。



［コントロール設定の読み込み］	［コントロール設定の保存］で保存した設定を読み込みます。接続しているカメラで保存した設定を読み込んでください。 このメニュー項目を選択すると、［ファイルを開く］ダイアログが表示されます。ドライブとフォルダを指定し、コントロール設定ファイル（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）を選択します。現在の［Camera Control Pro］ウィンドウの設定が、選択したファイルの設定に変わります。
［コントロール設定の保存］	現在の［Camera Control Pro］ウィンドウの設定をファイルに保存します。保存した設定は、［コントロール設定の読み込み］で呼び出せます。 このメニュー項目を選択すると、［名前を付けて保存］ダイアログが表示されるので、保存先とファイル名を指定します（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）。

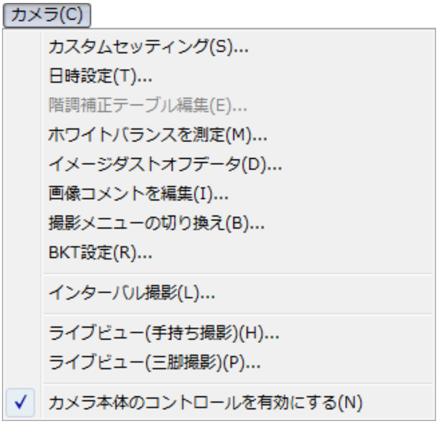
［コントロール設定の保存］で保存されない項目について

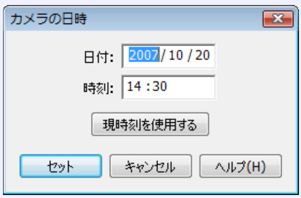
［コントロール設定の保存］で設定を保存しても、以下の項目は保存できません。

- ［ドライブ］パネルの［オート BKT］チェックボックスのオン / オフ
- ［ドライブ］パネルの［レンズ］の編集内容
- ［処理］パネルの［ピクチャーコントロール］の［調整］ダイアログの全項目
- ［BKT モード］ダイアログの全項目

［カメラ］メニューについて

Camera Control Proの[カメラ]メニューから次のメニュー項目を選択することによって、カメラの設定を変更したり、撮影した画像にさまざまな画像調整を行うことができます。

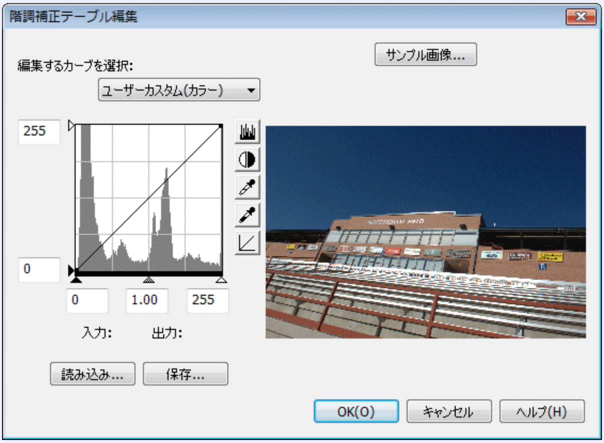


[カスタムセッティング]	［カスタムセッティング］を選択すると、撮影時のカメラの設定を変更できる［カスタムセッティング］ダイアログが開きます。詳細な内容については「カスタムセッティング」を参照してください。
[日時設定]	［日時設定］を選択すると、［カメラの日時］ダイアログが開きます。 ここでは、使用するカメラの日時設定を行うことができます。 ［現時刻を使用する］ボタンをクリックすると、パソコンに設定されている時刻がテキストボックスに表示されます。 ［セット］ボタンをクリックすると、ここで設定した内容がカメラに反映されます。 

[カメラ]メニューについて

[階調補正テーブル編集]
D3　D300　以外

[階調補正テーブル編集]を選択すると、[階調補正テーブル編集]ダイアログが開きます。



このダイアログの機能はカメラの階調補正テーブルを作成するもので、サンプル画像で確認しながら、シャドー、ハイライト、中間調や、最小出力値、最大出力値などを編集することができます。初期設定のリニアの状態では、カメラの階調補正の標準（ノーマル）と同じ効果のカーブになります。独自の階調を作成して、カメラに適用することができます。

編集できるのはマスターカーブ（「RGB」チャンネルのカーブ）だけで、カーブ上に追加できるポイントは 20 個までです。グレー点の追加はできません。

ここで作成されたカーブは、カメラのノーマルカーブに付加された上でカメラに設定されます。そのため、ノーマルカーブで作成された画像を元に手直しする形でカーブを編集することをおすすめします。

[階調補正テーブル編集]次ページへ続く

[編集するカーブの選択]メニューについて D2Xs D2X D2Hs D80

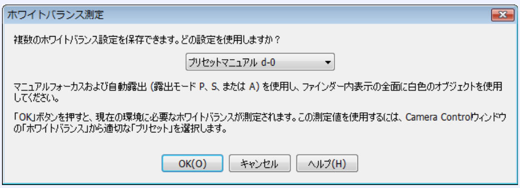
[編集するカーブを選択] のリストを切り換えることによって、以下のカーブを編集できます。

D2Xs　D2X※　D2Hs※：[ユーザーカスタム 1 ～ 3]の 3 種類

※ カメラのファームウェア バージョンが 2.00 の場合のみ

D80：[ユーザーカスタム (カラー)]または［ユーザーカスタム (白黒)]の 2 種類

［カメラ］メニューについて

［階調補正テーブル編集］ D3　D300　以外	［読み込み］ボタンをクリックすると、［階調補正テーブル編集］ダイアログで保存したトーンカーブファイル（.ntc）を選択して画像に適用することができます。次の設定ファイルが読み込み可能です。 ・［保存］ボタンで保存したトーンカーブファイル（.ntc） ・Nikon Capture（別売）で保存した［トーンカーブ］ファイル（.ncv） ・Capture NX（別売）で保存した［レベルとトーンカーブ］のデータを含んだ設定ファイル（.set） ［保存］ボタンをクリックすると、［階調補正テーブル編集］ダイアログで編集したカーブをトーンカーブファイル（.ntc）の形式で保存することができます。D2Xs の場合、現在表示されているカーブのみが保存されます。 ［サンプル画像］ボタンをクリックすると、画像調整のサンプル画像を選択して表示します。ただし、サンプル画像として使用できるのは、D2 シリーズ、D1 シリーズ、D200、D100、D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズで作成された RAW 画像のみです。 ［OK］ボタンをクリックすると、編集したカーブがカメラに記録されます。D2Xs の場合、［OK］ボタンをクリックすると、［編集するカーブを選択］で切り換えて編集したすべてのカーブがカメラに記録されます。
［ホワイトバランスを測定］	［ホワイトバランスを測定］を選択すると、［ホワイトバランス測定］ダイアログが開きます。 ここでは、プリセットホワイトバランスをセットすることができます。ポップアップメニューよりデータの保存先を選択し（D3、D2 シリーズ、D1X、D1H、D300、D200）、［OK］ボタンをクリックすると、プリセットホワイトバランスがセットされます（プリセットホワイトバランスの詳しい設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください）。 

D100 のファンクションダイヤルについて

D100 で［ホワイトバランスを測定］する場合は、ファンクションダイヤルを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかの露出モードに設定してください。

D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズの撮影モードダイヤルについて

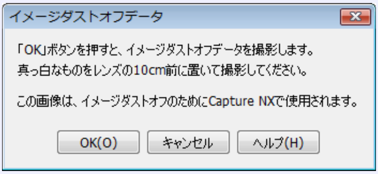
［ホワイトバランスを測定］する場合は、撮影モードダイヤルを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかの露出モードに設定してください。

[カメラ] メニューについて

[イメージダストオフデータ]

D3　D2 シリーズ　D300　D200　D80　D70 シリーズ　D50　D40 シリーズ

[イメージダストオフデータ] を選択すると、[イメージダストオフデータ] ダイアログが開きます。ここでは Capture NX (別売) などの [イメージダストオフ] で使用できるイメージダストオフデータを取得できます。



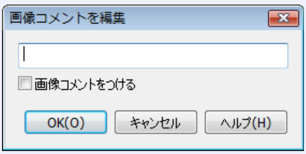
[イメージダストオフデータ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、イメージダストオフデータを取得します。イメージダストオフデータの撮影方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。

[画像コメントを編集]

[画像コメントを編集] を選択すると、[画像コメントを編集] ダイアログが開きます。D1 シリーズ以外のカメラの場合には、カメラで設定したコメントを表示および編集できます。ここで使用できる文字は、カメラのセットアップメニューの「画像コメント」のキーボードエリアで選択できる文字に制限されます。D1 シリーズの場合は、半角 38 文字、全角 19 文字を入力することができます。D1 シリーズ以外のカメラの場合は、半角のみ 36 文字を入力できます。

D1 シリーズ以外のカメラの場合は、[画像コメントをつける] チェックボックスをオン ☑ にすると、ここで表示されているコメントが画像に記録されます。チェックボックスをオフ ☐ にすると、撮影画像には記録されませんが、[画像コメント] のコメントエリアに入力されます。D1 シリーズの場合は、ここに入力したコメントが画像に記録されます。

[OK] ボタンをクリックすると、設定がカメラに保存され、撮影する画像に適用されます。

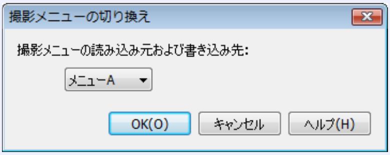


[カメラ] メニューについて

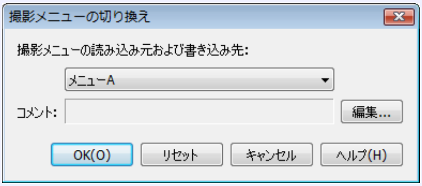
[撮影メニューの切り換え]
D3 D2 シリーズ D300 D200 D100

[撮影メニューの切り換え] を選択すると、[撮影メニューの切り換え] ダイアログが開きます。撮影メニューについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

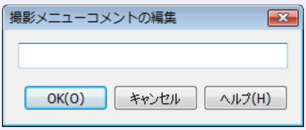
D100 : 撮影メニューのセット状態を [メニュー A] と [メニュー B] の 2 通りに記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。



D3 D2 シリーズ D300 D200 : 撮影メニューのセット状態を 4 通り記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。また、各撮影メニューのコメントの編集や、撮影メニューのセット状態のリセットを行うこともできます。



[編集] ボタンをクリックすると、[撮影メニューコメントの編集] ダイアログが表示されます。[撮影メニューコメントの編集] ダイアログでは、各撮影メニューのコメントを編集することができます。ここでは、20 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「[撮影メニューコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。



[撮影メニューコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号

D3 D2 シリーズ D300 D200

[撮影メニューコメントの編集] ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます :

「 (スペース)」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

[カメラ] メニューについて

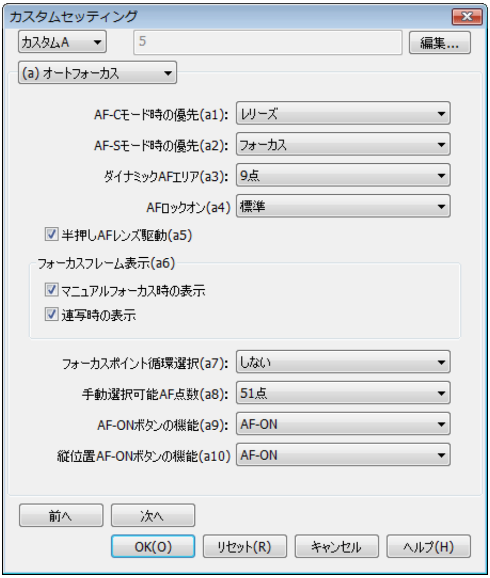
[BKT 設定] D3 D2 シリーズ D300 D200 D80 D70 シリーズ D50	[BKT 設定] を選択すると、[BKT モード] ダイアログが開きます。詳細な内容については、[ドライブ] パネルのインターバル撮影の手順 2 を参照してください。
[インターバル撮影]	[インターバル撮影] を選択すると、[インターバル撮影] ダイアログが開きます。詳細な内容については、「インターバル撮影」を参照してください。
[ライブビュー（手持ち撮影）] D3 D300	[ライブビュー（手持ち撮影）] を選択すると、[ライブビュー（手持ち撮影）] ウィンドウが表示されます。詳細な内容については、「ライブビュー撮影」を参照してください。
[ライブビュー（三脚撮影）] D3 D300	[ライブビュー（三脚撮影）] を選択すると、[ライブビュー（三脚撮影）] ウィンドウが表示されます。詳細な内容については、「ライブビュー撮影」を参照してください。
[カメラ本体のコントロールを有効にする] D1 シリーズ D100 以外	チェックをオンにすると、接続したカメラを直接操作して撮影することができます。チェックをオフにすると、電源スイッチ、フォーカスモードセレクトダイヤル以外のすべてのカメラ本体での操作が行えなくなります。

カスタムセッティング

［カスタムセッティング］ダイアログでは、カメラに設定されているカスタムセッティングの内容を参照したり、変更したりすることができます。カスタムセッティングについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

1 ［カメラ］メニューの［カスタムセッティング］を選択します。

次のような［カスタムセッティング］ダイアログが表示されます。



［カスタムセッティング］ダイアログには、接続されているカメラのカスタムセッティングが表示されます。

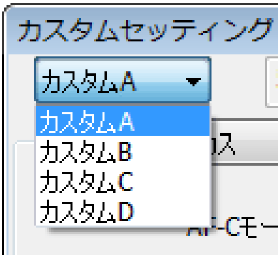
カスタムセッティングの内容

［カスタムセッティング］ダイアログに表示されている各項目を変更すると、カメラに変更内容が送信され、カメラ側のカスタムセッティングに反映されます。カメラを直接操作することなく、カスタムセッティングの内容を変更できます。

カスタムセッティング

2 カスタムセッティングを切り換えるときは、ウインドウ上部のメニューを開き、表示されるテキストボックスの中から選択します。

カスタムセッティングは、使用するカメラの機種によって選択できる数が異なります。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。



D3

3 各項目を変更して［OK］ボタンをクリックすると、変更した内容がカメラに反映されます。

カスタムセッティング

注意

カスタムセッティングの内容をファイルに保存することはできません。また、［リセット］ボタンをクリックすると、すべての項目が初期設定に戻ります。

［カスタムセッティング］ダイアログで変更できない項目について

以下のカスタムセッティングは、Camera Control Pro の［カスタムセッティング］ダイアログで変更できません。

・RAW データ記録（#28）（D1 シリーズ のみ）

「0」がセットされている場合、カメラとパソコンを接続して Camera Control Pro を起動すると、警告ダイアログが表示されます。ダイアログで［OK］ボタンをクリックすると「1（非圧縮）」にセットされます。「0（しない）」に変更する場合は、カメラ本体で行ってください。

カメラ本体でのみ変更可能な項目：

・クリーニングミラーアップ（#8）（D1 シリーズ のみ）

［Camera Control Pro］ウィンドウの［露出 2］パネルで変更可能な項目：

・増感モード（#31）（D1 シリーズ のみ）

増感モードは［感度］の設定により、自動的に変更されます。

・感度の自動制御（#3）（D100 のみ）

［Camera Control Pro］ウィンドウの［ドライブ］パネルで変更可能な項目：

・PC（パソコンモード）時の動作設定（#30）（D1 シリーズ のみ）

［Camera Control Pro］ウィンドウの［処理］パネルで変更可能な項目：

・輪郭強調（#23）（D1 シリーズ のみ）

・階調補正（#24）（D1 シリーズ のみ）

・カラー設定（#32）（D1X D1H のみ）

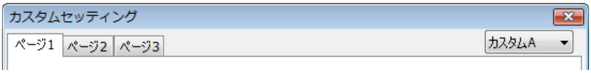
・色合い調整（#33）（D1X D1H のみ）

・ノイズ除去（#4）（D100 のみ）

カスタムセッティング

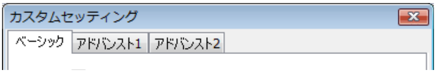
D1 シリーズ、D100 のカスタムセッティング

D1 シリーズ、D100 のカスタムセッティングは、「ページ 1」「ページ 2」「ページ 3」の 3 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。



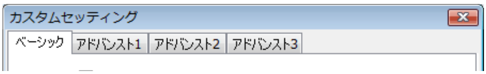
D70 シリーズ、D50、D40 シリーズのカスタムセッティング

D70 シリーズ、D50、D40 シリーズのカスタムセッティングは、「ベーシック」「アドバンスト 1」「アドバンスト 2」の 3 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。



D80 のカスタムセッティング

D80 のカスタムセッティングは、「ベーシック」「アドバンスト 1」「アドバンスト 2」「アドバンスト 3」の 4 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。



カスタムセッティング

D3、D2 シリーズ、D300、D200 のカスタムセッティング

カスタムセッティングとコメントについて

D3、D2 シリーズ、D300、D200 では、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」からカスタムセッティングを選択することができます。また、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」は、それぞれお好みの名前に変更することができます。カスタムセッティングの切り換えリストの右横にある［編集］ボタンをクリックすると、［コメント編集］ダイアログが表示されます。

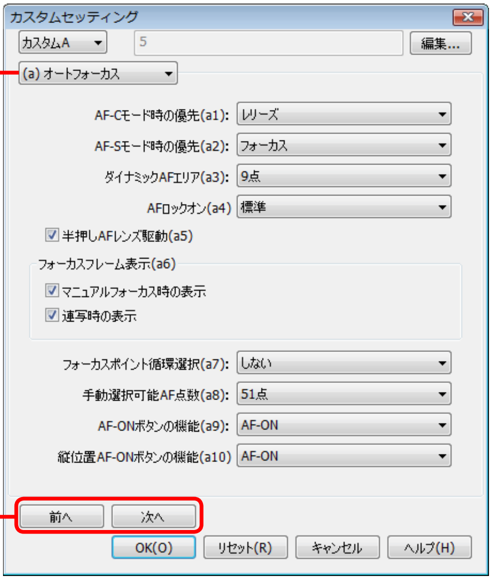
［コメント編集］ダイアログでは、各カスタムセッティングの名前を編集することができます。ここでは、20 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「カスタムセッティングの［コメント編集］ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。［OK］ボタンをクリックすると、ここで設定した名称が、カメラに送信されます。

カスタムセッティングの区分について

D3、D2 シリーズ、D300、D200 のカスタムセッティングは、6 区分に分けられています。各パネルでは、それぞれの区分に属するカスタムセッティングを設定することができます。表示するパネルの切り換えは、区分ポップアップメニュー、または［前へ］/［次へ］ボタンで行います。

区分ポップアップメニュー

［前へ］/［次へ］ボタン



画面は D3 のパネルです

カスタムセッティング

カスタムセッティングの［コメント編集］ダイアログに入力可能な記号

D3　D2 シリーズ　D300　D200

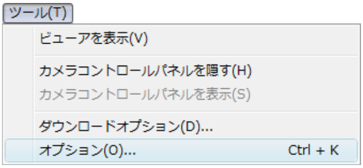
［コメント編集］ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「（スペース）」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

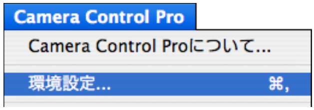
付録

環境設定

Windows の場合、Camera Control Pro の［ツール］メニューから［オプション］を、Macintoshの場合は、[Camera Control Pro] から [環境設定] を選択すると、[オプション（環境設定)］ダイアログが表示されます。



Windows

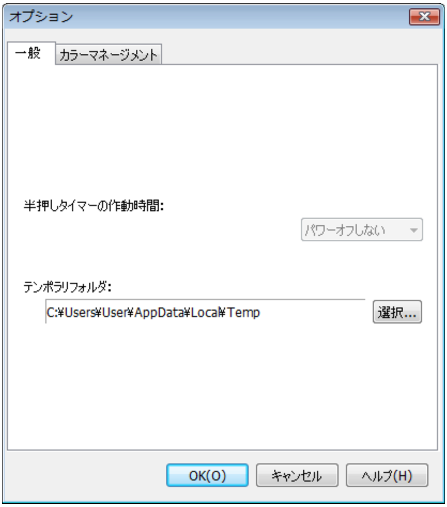


Macintosh

Camera Control Pro の［オプション（環境設定)］ダイアログの各パネルでは、次のようなユーザー環境を設定できます。

環境設定

［一般］パネル

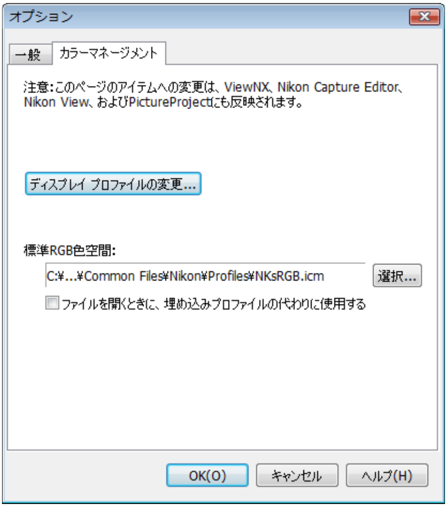


半押しタイマーの作動時間	Camera Control Pro の起動中、リチャージャブルバッテリーを使用している場合のカメラの半押しタイマーの作動時間を設定します。半押しタイマーが作動している間は、カメラと Camera Control Pro 間での通信が可能です。ここでの設定時間は、カスタム設定での半押しタイマー時間よりも優先されます。D1 シリーズ以外のカメラをご使用の場合は、この項目は設定できません（パソコンに接続している間は常に電源スイッチが ON の状態になります）。バッテリーをご使用の際はバッテリーが消費され続けるのでご注意ください。 ［15 分］（D1 シリーズのみ）：半押しタイマーの時間が 15 分に延長されます。 **［パワーオフしない］**：常に半押しタイマーが作動している状況を維持します。AC アダプターを使用している場合は、常に半押しタイマーが作動している状態を維持します。
［テンポラリフォルダ］／［テンポラリデータ保存のために使用するボリューム］	画像キャッシュなどのテンポラリデータを一時保存するフォルダ（Windows）または ボリューム（Macintosh）を指定します。デフォルト（初期設定）は、起動した OS のテンポラリフォルダ（Windows）またはボリューム（Macintosh）です。テンポラリフォルダ（ボリューム）を変更する場合は、右の［選択］ボタン（Windows）または ボタン（Macintosh）をクリックします。

環境設定

[カラーマネージジメント] パネル（Windows）

Windows の［カラーマネージジメント］パネルでは、ニコンカラーマネージジメントシステムに関する項目を設定できます。



［ディスプレイプロファイルの変更］ボタン	ご使用のモニターの特性を補正するために使われるディスプレイプロファイルを設定します。変更する場合は、［ディスプレイプロファイルの変更］ボタンをクリックし、OS の［画面のプロパティ］ウィンドウの［設定］パネルの［詳細設定］ボタンをクリックすると、ディスプレイのプロファイルウィンドウが開きます。このプロファイルウィンドウの［色の管理］パネルの［追加］ボタンをクリックして、ディスプレイプロファイルを指定します。
［標準 RGB 色空間］	画像を扱う際の作業用（出力）色空間を設定します。［選択］ボタンをクリックして RGB プロファイルを指定します。 ［ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する］のチェックボックスをオン ☑ にすると、標準 RGB 色空間で設定された色空間が作業用色空間となります。チェックボックスをオフ ☐ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。

環境設定

マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境で表示する場合は、主に画像を表示するディスプレイに合ったプロファイルを設定してください。

デフォルト（初期値）のディスプレイプロファイル

パソコンでカラープロファイルが設定されていない場合には、NKMonitor_Win.icm をデフォルト（初期値）のディスプレイプロファイルとして使用します。NKMonitor_Win.icm は sRGB に相当します。

［カラーマネージメント］パネルの設定

［カラーマネージメント］パネルで変更した内容は、ViewNX、Nikon Capture（別売）、Nikon View、PictureProject、Camera Control Pro で共有され、各アプリケーションのオプション（環境設定）の［カラーマネージメント］パネルに反映されます。Capture NX（別売）には反映されません。

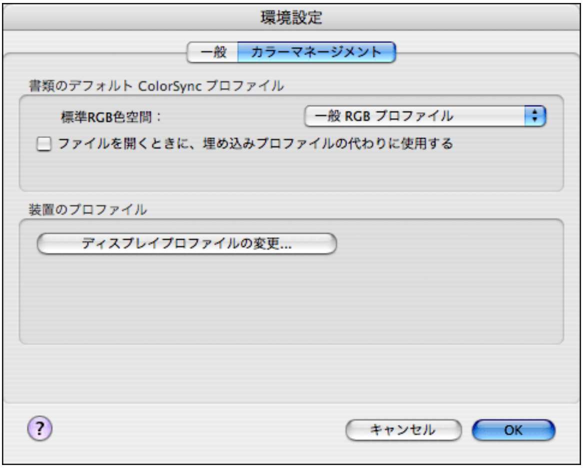
補足

Camera Control Pro がサポートする色空間については、「標準 RGB 色空間について」を参照してください。

環境設定

[カラーマネージメント] パネル（Macintosh）

Macintosh の［カラーマネージメント］パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。また、ディスプレイプロファイルについては、システム環境設定のディスプレイで設定されているプロファイルが反映されます。



[書類のデフォルト ColorSync プロファイル] セクション	画像の表示に使用する、ICC プロファイルを設定します。 **[標準 RGB 色空間]**：画像を扱う際の作業用（出力）色空間（ICC プロファイル名）を選択できます。［ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する］チェックボックスをオン にすると、ここで設定したプロファイルが画像を扱う際の作業用色空間となります。チェックボックスをオフ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。
[装置のプロファイル] セクション	ディスプレイプロファイルの設定を行います。 **[ディスプレイプロファイルの変更]**：［ディスプレイプロファイルの変更］ボタンをクリックすると、システム環境設定のディスプレイが開きます。ここで、［カラー］タブを選択して、ディスプレイのプロファイルを参照および変更することができます。

環境設定

補足

［標準 RGB 色空間］に入力用のプロファイルを設定した場合、Camera Control Pro では、sRGB 色空間が設定されたものとして動作します。

［カラーマネージメント］パネルの設定

［カラーマネージメント］パネルで変更した内容は、Capture NX、Nikon Capture（別売）、Nikon View、PictureProject には反映されませんが、ViewNX には反映されます。ただし、ディスプレイプロファイルの変更は、OS の設定を変更するため、すべてのソフトウェアに影響します。

マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境では、ウインドウのより多くのエリアを表示しているディスプレイのプロファイルを取得し表示します。従って、ディスプレイごとに異なるプロファイルを使って表示を行うことができます。

補足

Camera Control Pro がサポートする色空間については、「標準 RGB 色空間について」を参照してください。

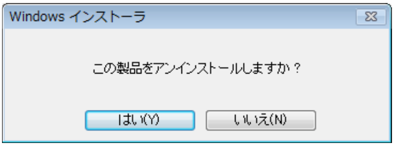
アンインストール Windows

Camera Control Pro をアンインストールする際は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

1 スタートのプログラム一覧から［Camera Control Pro 2］→［Camera Control Pro 2 アンインストール］を選択します。



2 アンインストールの確認ダイアログが表示されます。



［はい］ボタンをクリックすると、アンインストールを開始します。

3 Camera Control Pro とほかのプログラムで共有している共有ファイルや読み取り専用ファイルがある場合、確認の画面が表示されます。画面の表示を確認しながらファイルを削除、または残します。

4 ［完了］ボタンをクリックします。

パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

アンインストール　*Macintosh*

Camera Control Pro をアンインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

1 ［アプリケーション］→［Nikon Software］→「Camera Control Pro 2」の順にフォルダを選択し、[Camera Control Pro 2 Uninstaller] をダブルクリックしてください。



2 Camera Control Pro のアンインストールには、管理者の［名前］と［パスワード］が必要です。

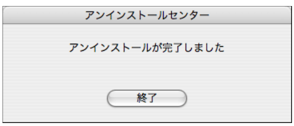
管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックしてください。



3 ［はい］ボタンをクリックしてください。



4 ［終了］ボタンをクリックしてください。



標準 RGB 色空間について

	色空間	Windows	Macintosh	内容
ガンマ 1.8 系	Apple RGB	NKApple.icm	Nikon Apple RGB 4.0.0.3000	Adobe Photoshop 4.0 以前のバージョンで使用されていた RGB 色空間です。各種 DTP アプリケーションでも使用されている、Macintosh 用モニターの平均的な RGB 色空間です。Macintosh 上で画像を表示する場合に適しており、バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Apple RGB」に相当します。
	ColorMatch RGB	NKCMatch.icm	Nikon ColorMatch RGB 4.0.0.3000	Radius 社の Pressview モニター用の色空間で、Apple RGB よりもやや色域が広く、特に青の色域が広いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Color Match RGB」に相当します。

標準 RGB 色空間について

	色空間	Windows	Macintosh	内容
ガンマ2.2系	sRGB	NKsRGB.icm	Nikon sRGB 4.0.0.3001	ほとんどの Windows 用モニターの代表として定義された色空間です。一般的なカラー TV の色空間にも非常に似通っており、近年アメリカで標準となりつつあるデジタル TV 放送用色空間でもあります。この色空間を初期設定色空間として使用するハードウェア、ソフトウェアが多く見受けられます。近年 Web ページに用いる画像の標準色空間になりつつあり、スキャンした画像を編集またはプリントせず、そのまま電子画像として使用する場合に適しています。しかし色域が狭く、特に青の色域が狭いのが特徴です。Adobe Photoshop 5.0 または 5.5 における RGB 設定の「sRGB」、Adobe Photoshop 6.0 における「sRGB IEC61966-2.1」に相当します。
	Bruce RGB	NKBruce.icm	Nikon Bruce RGB 4.0.0.3000	Bruce Fraser 氏が定義した色空間です。xy 色度図上で「Adobe RGB」の G と「ColorMatch RGB」の G の間に G の色度を定義し、sRGB の青の色域を広げて SWOP CMYK の色域を包含する色域を実現しています。Bruce RGB の R と B は「Adobe RGB」と一致しています。
	NTSC (1953)	NKNTSC.icm	NTSC (1953) 4.0.0.3000	National Television Standard Committee（NTSC）で定義されたビデオ色空間で、従来のカラーテレビの標準 RGB 色空間です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「NTSC（1953)」に相当します。
	Adobe RGB (1998)	NKAdobe.icm	Nikon Adobe RGB (1998) 4.0.0.3000	Adobe Photoshop 5.0 で定義された色空間です。sRGB よりもかなり色域が広く、ほとんどのプリンターの CMYK 色域を包含しているので、DTP 関連の業務に適しています。Adobe Photoshop 5.0 の RGB 設定の「SMPTE-240M」、バージョン 5.5 以降の「Adobe RGB（1998)」に相当します。
	CIE RGB	NKCIE.icm	Nikon CIE RGB 4.0.0.3000	Commission Internationale de l'Eclairage（CIE）で定義された色空間です。色域はかなり広めですが、シアン系の色域が狭いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「CIE RGB」に相当します。
	Adobe Wide RGB	NKWide.icm	Nikon AdobeWide RGB 4.0.0.3000	Adobe 社が定義した可視カラーの大半を表現できる色空間です。しかしこの色空間で定義される色の大半は一般的なモニターやプリンターでは表現できない色となります。バージョン 5.0 以降の AdobePhotoshop の RGB 設定の「Adobe Wide RGB」に相当します。

デバイス登録の確認

D1 シリーズカメラが、Camera Control Pro をインストールしたパソコンに正しく認識されない場合は、IEEE1394 ボードやカメラなどのデバイスが、パソコンに正しく登録されていないことが考えられます。

ご使用の OS をクリックし、デバイス登録の確認手順をご覧ください。

Windows XP Professional/Home Edition

Windows 2000 Professional

［デバイスマネージャ］の表示方法

デバイス登録の確認には、Windows の［デバイスマネージャ］を使用します。［デバイスマネージャ］の表示方法は以下の通りです。

Windows XP

［スタート］メニュー →［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］の順に選択して［システムのプロパティ］ダイアログを開き、［ハードウェア］パネルの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

Windows 2000

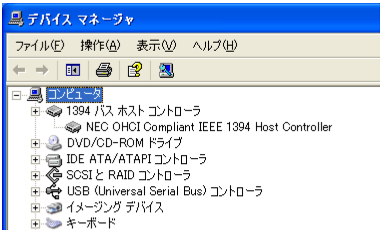
デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンを右クリックします。表示されるメニューのプロパティをクリックして、［システムのプロパティ］ダイアログを開き、［ハードウェア］パネルの［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

デバイス登録の確認　Windows XP 1/4

IEEE1394 ボードの確認

以下の手順で、ご使用の OHCI 対応 IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 [デバイスマネージャ] で、[1394 バスホストコントローラ] の下にご使用のコントローラ名が表示されていることを確認してください。



[デバイスマネージャ] に [1394 バスコントローラ] が表示されない場合や、IEEE1394 ボード名が [その他のデバイス] の下に表示される場合、IEEE1394 ボード名に赤や黄色のマークが表示される場合は、IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていません。ボードの使用説明書などをご覧になり、正しく認識されるように設定してください。

2 Camera Control Pro に付属の D1 シリーズ用ドライバをインストールし、パソコンを再起動した後、パソコンとカメラを IEEE1394 ケーブルで接続し、カメラの電源を ON にすると、自動的にカメラの登録が行われます。

ログオン

カメラを登録する場合は、「コンピュータの管理者」権限のアカウントでログオンしてください。

カメラとパソコンを接続する前に

カメラをパソコンに接続する前に、必ず Camera Control Pro をインストールしてください。

デバイス登録の確認

D1 シリーズカメラの確認

以下の手順で、カメラがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 ［デバイス マネージャ］に、［Nikon 1394 Protocol Device］と［Nikon Digital Camera D1 Series］が表示されていることを確認してください。



［Nikon 1394 Protocol Device］が表示されず、［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］が表示されている場合は、デバイスドライバを再インストールしてください。

［Nikon 1394 Protocol Device］も「その他のデバイス」も表示されていない場合は、カメラの電源を入れなおしてください。

2 ［Nikon Digital Camera D1 Series］ダブルクリックしてプロパティを開き、［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています。］と表示されていることを確認してください。



トラブルシューティング

［デバイスマネージャ］に［1394 バスコントローラ］は表示されるが、［NIKON D1X（D1/D1H)］が表示されない場合は、以下のことについてご確認ください。

- カメラの電源は ON になっていますか？
- バッテリー残量は不足していませんか？ AC アダプターは正しく接続されていますか？
- 動作モードが［PC］に設定されていますか？
- IEEE1394 ケーブルは正しく接続されていますか？

デバイス登録の確認

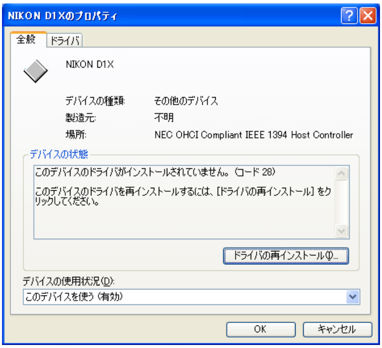
デバイスドライバの再インストール

［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］と表示されている場合は、以下の手順で、デバイスドライバを再インストールする必要があります。

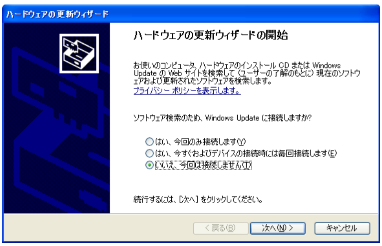
1 ［その他のデバイス］の下にある［NIKON D1X（D1/D1H)］をダブルクリックしてプロパティを表示します。



2 ［全般］パネルの［ドライバの再インストール］ボタンをクリックします。

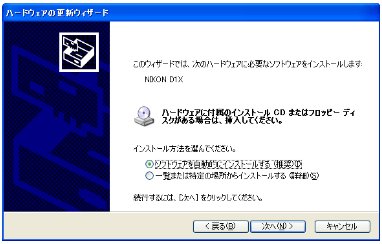


3 ［いいえ、今回は接続しません］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

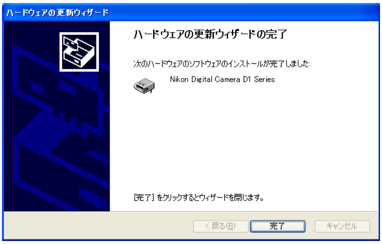


デバイス登録の確認

4 ［ソフトウェアを自動的にインストールする］を選択して、Camera Control Pro CD を CD-ROM ドライブに挿入（Welcome ウィンドウが表示された場合は［終了］ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じてください）すると、自動的にドライバーがインストールされます。



5 ［完了］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



6 ［Nikon Digital Camera D1 Series のプロパティ］の［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています］と表示されていることを確認してください。

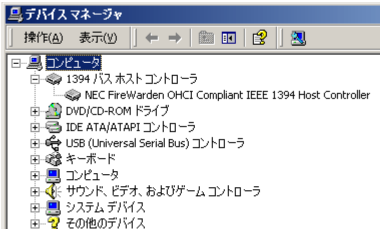


デバイス登録の確認　Windows 2000 1/8

IEEE 1394 ボードの確認

以下の手順で、ご使用の OHCI 対応 IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 ［デバイスマネージャ］で、［1394 バスホストコントローラ］の下にご使用のコントローラ名が表示されていることを確認してください。



［デバイスマネージャ］に［1394 バスコントローラ］が表示されない場合や、IEEE1394 ボード名が［その他のデバイス］の下に表示される場合、IEEE1394 ボード名に赤や黄色のマークが表示される場合は、IEEE1394 ボードがパソコンに正しく認識されていません。ボードの使用説明書などをご覧になり、正しく認識されるように設定してください。

2 Camera Control Pro に付属の D1 シリーズ用ドライバーをインストールし、パソコンを再起動した後、パソコンとカメラを IEEE1394 ケーブルで接続し、カメラの電源を ON にすると、自動的にカメラの登録が行われます。

ログオン

カメラを登録する場合は、Administorators 権限でログオンしてください。

すでに Nikon View DX / Nikon Capture で D1 をご使用の場合

すでに Nikon View DX、Nikon Capture で D1 をご使用の場合は、「デバイスドライバの更新」をご覧のうえ、デバイスドライバを更新してください。

カメラとパソコンを接続する前に

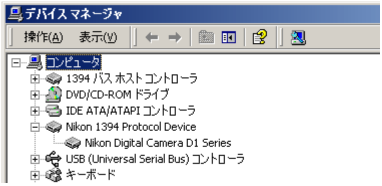
カメラをパソコンに接続する前に、必ず Camera Control Pro をインストールしてください。

デバイス登録の確認 Windows 2000 2/8

D1 シリーズカメラの確認

以下の手順で、カメラがパソコンに正しく認識されていることをご確認ください。

1 [デバイスマネージャ] に［Nikon 1394 Protocol Device］と［Nikon Digital Camera D1 Series］が表示されていることを確認してください。



［Nikon 1394 Protocol Device］が表示されず、［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］と表示されている場合は、デバイスドライバを再インストールしてください。

［Nikon 1394 Protocol Device］も「その他のデバイス」も表示されていない場合は、カメラの電源を入れなおしてください。

2 ［Nikon Digital Camera D1 Series］をダブルクリックしてプロパティを開き、［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています。］と表示されていることを確認してください。



トラブルシューティング

［デバイスマネージャ］上に［1394 バスコントローラ］は表示されるが、［NIKON D1X（D1/D1H)］が表示されない場合は、以下のことについてご確認ください。

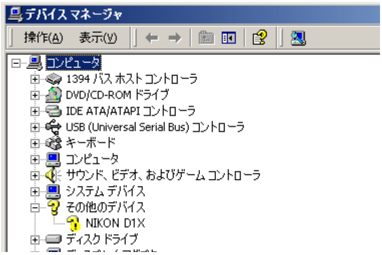
- カメラの電源は ON になっていますか？
- バッテリー残量は不足していませんか？ AC アダプターは正しく接続されていますか？
- 動作モードが［PC］に設定されていますか？
- IEEE1394 ケーブルは正しく接続されていますか？

デバイス登録の確認 Windows 2000 3/8

デバイスドライバの再インストール

［その他のデバイス］の下に［NIKON D1X（D1/D1H)］と表示されている場合は、以下の手順で、デバイスドライバを再インストールする必要があります。

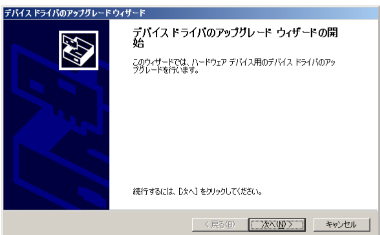
1 ［その他のデバイス］の下にある［NIKON D1X（D1/D1H)］をダブルクリックして、プロパティを表示します。



2 ［全般］パネルにある［ドライバの再インストール］ボタンをクリックします。

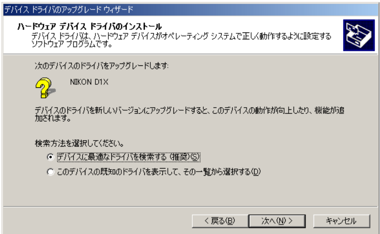


3 ［次へ］ボタンをクリックします。

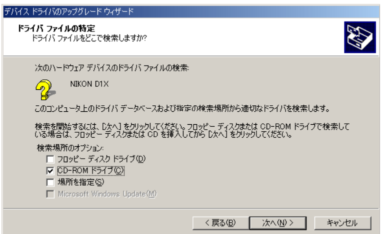


デバイス登録の確認

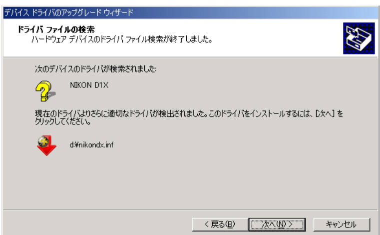
4 ［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



5 Camera Control Pro CD を CD-ROM ドライブに挿入し（Welcome ウィンドウが表示された場合は［終了］ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じてください）、［CD-ROM ドライブ］にチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。



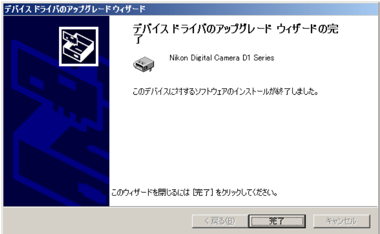
6 ［次へ］ボタンをクリックします。



※［このデバイス用のドライバが見つかりませんでした］と表示された場合は、挿入した CD-ROM が認識されていないか、指定したフォルダが間違っていることが考えられます。［戻る］ボタンをクリックし、Step5 に戻って再度設定してください。

デバイス登録の確認　Windows 2000 5/8

7 ［完了］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



8 ［Nikon Digital Camera D1 Series のプロパティ］の［全般］パネルにある［デバイスの状態］に［このデバイスは正常に動作しています。］と表示されていることを確認してください。

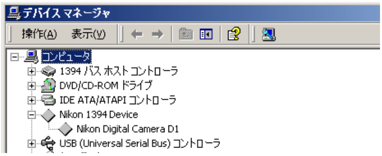


デバイス登録の確認

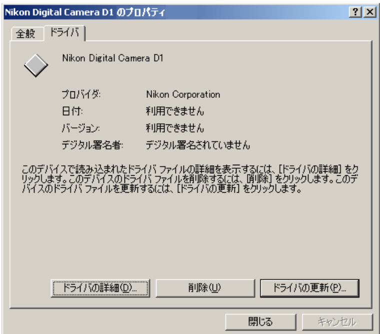
デバイスドライバの更新

すでに Nikon View DX、Nikon Capture で D1 シリーズをご使用の場合、登録されている D1 シリーズ用のデバイスドライバを更新する必要があります。

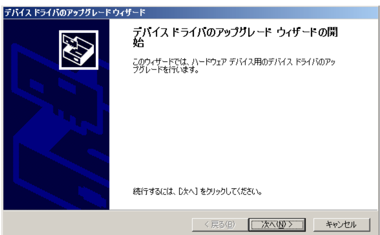
1 [デバイス マネージャ] で、[Nikon 1394 Device] の下にある [Nikon Digital Camera D1] をダブルクリックしてプロパティを表示します。



2 [ドライバ] パネルにある [ドライバの更新] ボタンをクリックします。

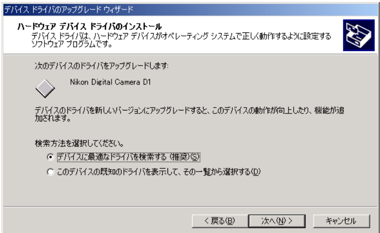


3 [次へ] ボタンをクリックします。

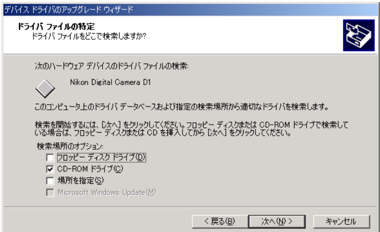


デバイス登録の確認

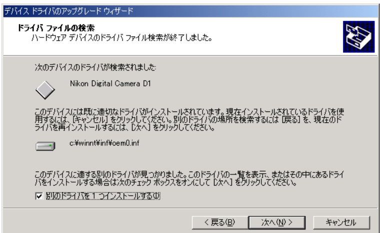
4 ［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



5 Camera Control Pro CD を CD-ROM ドライブに挿入し（Welcome ウィンドウが表示された場合は［終了］ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じてください)、［CD-ROM ドライブ］にチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。

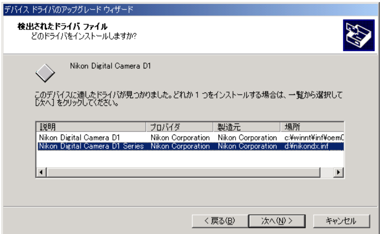


6 ［別のドライバを 1 つインストールする］にチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。

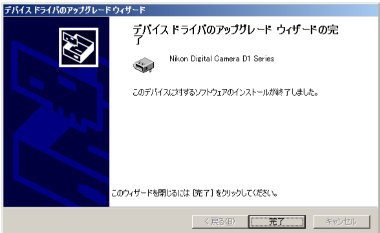


デバイス登録の確認

7 [Nikon Digital Camera D1 Series] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



8 [完了] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



9 [Nikon Digital Camera D1 Series のプロパティ] の [全般] パネルにある [デバイスの状態] に [このデバイスは正常に動作しています] と表示されていることを確認してください。



カスタマー登録とサポート窓口のご案内

カスタマー登録のご案内

Camera Control Pro のインストール前または後に［Welcome］ウィンドウの［Nikon オンライン関連リンクボタン］をクリックすると表示される画面の［カスタマー登録］ボタンをクリックしてください。インターネットを通じてカスタマー登録を行うことができます（インターネットに接続できる環境が必要です）。



カスタマー登録は下記の Web サイトからも行えます。

https://reg.nikon-image.com

サポート窓口のご案内

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

市内通話料でOK ナビダイヤル®

☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜18:00（年末年始、夏期休業等を除く毎日）
携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、(03)5977-7033 におかけください。
FAXでのご相談は、(03)5977-7499 におかけください。

株式会社ニコン・ニコンカメラ販売株式会社